

令和7年度

所報



創造のよろこび



富山県民生涯学習カレッジ

富山地区センター

目 次

1	施設概観と組織・運営	
	(1) 県民カレッジ富山地区センターの概要	1
2	事業概要	
	(1) 概要	2
	(2) 年間スケジュール	3
3	講座	
	(1) 「つながる学びわくわく講座」つながるふるさと学びコース(地区連携型)	5
	(2) 「つながる学びわくわく講座」つながるふるさと学びコース(地区単独型)	6
	(3) 「つながる学びわくわく講座」つながる体験コース	18
	(4) 「こどもまんなか教室」	26
	(5) 共学講座	27
	(6) 教養講座(県民カレッジ委託)	28
	(7) 自遊塾	33
4	開催行事	
	(1) 県民カレッジ富山地区センター学遊祭	33
	(2) カレッジわくわくシアター	34
5	連携	
	(1) 富山地区広域学習サービス連絡会議	34
	(2) 富山地区生涯学習団体協議会	35
6	ボランティアとの協働	
	(1) カレッジメイト(生涯学習ボランティア)	39
	(2) ボランティアコーディネート	39
7	広報	
	(1) ホームページ	40
	(2) 印刷物	40
8	統計・資料	
	(1) 各講座の状況	40
	(2) 講座全体のアンケート結果より	42
	(3) 月別来所者数	43
	(4) 職員一覧	43



県民カレッジシンボルマークは、お互いに励まし合いながら学び、未来へ飛躍する姿を蝶のかたち(富山県のかたち)で表したものである。

(デザイン: 奥野達夫氏)

1 施設概観と組織・運営

(1) 県民カレッジ富山地区センターの概要

- ◇所在地 富山市神通町2-12-20
- ◇施設面積 301㎡（事務室及び学習室2室）
- ◇開所時期 平成25年1月1日設置
同年4月1日事業開始
- ◇所管区域 富山市、滑川市及び中新川郡各町村



〈平成25年4月6日開所式〉

◇利用時間及び休所日

- 利用時間 月曜日及び水曜日から土曜日まで 午前9時～午後7時
日曜日 午前9時～午後5時
- 休所日 火曜日及び祝日並びに12月29日から1月3日まで

◇職員配置

役職	人数	備考
所長	1名	(兼) 雄峰高等学校長
副所長	1名	(兼) 雄峰高等学校教頭
学習専門員(常勤)	1名	
学習専門員(嘱託)	2名	
事務員(嘱託)	1名	
事務員(臨時)	1名	
事務長	1名	(兼) 雄峰高等学校事務長
主任	2名	(兼) 雄峰高等学校主任
主事	2名	(兼) 雄峰高等学校主事

◇5つの機能

- ①学習の場…地域に密着したふるさと学習の講座や県民の興味・関心の高い魅力ある講座を開講
- ②相談の場…「とやま学遊ネット」を活用して、講座や講師の紹介など生涯学習全般についての相談に対応
- ③発表の場…日頃の学習成果を、雄峰高等学校学園祭と同日開催する「富山地区センター学遊祭」で発表
- ④活動の場…学習団体の自主活動や、講座等の運営補助を行う「カレッジメイト」によるボランティア活動支援
- ⑤連携の場…富山地区広域学習圏、富山地区生涯学習団体協議会との連携協力



2 事業概要

(1) 概要

区 分	概 要
<p>1 学習機会の提供</p> <p>(1) 「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース (地区連携型)</p> <p>(2) 「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース (地区単独型)</p> <p>(3) 「つながる学びわくわく講座」 つながる体験コース</p> <p>(4) 「こどもまんなか教室」</p> <p>(5) 共学講座</p> <p>(6) 教養講座</p> <p>(7) 自遊塾</p> <p>(8) カレッジわくわくシアター</p> <p>(9) 地区セミナー</p>	<p>県民カレッジ本部主催講座 前期全4回 (対面受講+オンライン会場受講)</p> <p>富山地区センター主催講座 前期全6回 (対面受講+オンライン自宅受講) 後期全6回 (対面受講+オンライン自宅受講)</p> <p>富山地区センター主催講座 前期全4回 (現地研修) 後期全4回 (現地研修)</p> <p>富山地区センター主催講座 前期全2回 (対面受講)</p> <p>雄峰高等学校主催講座 全30講座</p> <p>富山地区生涯学習団体協議会への委託講座 全8回</p> <p>県民カレッジ本部主催講座 富山地区センターで8講座実施</p> <p>富山地区センター主催事業 全8回</p> <p>富山地区生涯学習団体協議会の自主講座 全2回</p>
<p>2 発表、交流の支援</p>	<p>富山地区センター学遊祭 (11/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄峰高等学校学園祭と同日開催 <p>ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレッジメイト 6名 ・富山地区生涯学習団体協議会
<p>3 県民カレッジ本部の活動支援</p>	<p>嘱託学習専門員会議の運営等</p>
<p>4 生涯学習団体の支援</p>	<p>富山地区生涯学習団体協議会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、運営委員会、広報紙編集委員会等の開催 ・学習室の提供 <p>富山県生涯学習団体協議会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、役員会の開催、広報誌編集
<p>5 学習情報の提供、学習相談 広報活動等</p>	<p>地区センターだより、チラシ等の発行</p> <p>ホームページの随時更新</p> <p>地区センター窓口での学習相談</p> <p>富山地区広域学習サービス連絡会議の開催</p>

(2) 年間スケジュール

事業名	時期	スケジュール内容
「つながる学びわくわく講座」(前期) ・つながるふるさと学びコース(地区連携型) ・つながるふるさと学びコース(地区単独型) ・つながる体験コース	2月 2月～ 5月～	講師、講座内容決定 受講者募集、受講者決定、受講料納入受付 講座開始
「こどもまんなか教室」(前期)	2月 7月～ 8月	講師、講座内容決定 受講者募集、受講者決定、受講料納入受付 講座開始
「つながる学びわくわく講座」(後期) ・つながるふるさと学びコース(地区単独型) ・つながる体験コース	6月 7月～ 10月～	講師、講座内容決定 受講者募集、受講者決定、受講料納入受付 講座開始
共学講座 ・通年(4月～2月) ・前期(4月～9月) ・後期(10月～2月)	4月 7月～ 1月 3月～	受講手続き 後期受講者募集、受講者決定、受講料納入受付 次年度講座内容決定 次年度前期・通年受講者募集、受講者決定
教養講座	4月 5月～ 3月	受講者募集、受講者決定、受講料納入受付 講座開始 次年度講師、講座内容決定
地区セミナー 自主講座	8月 11月～ 3月	受講者募集、受講者決定、受講料納入受付 講座開始 次年度講師、講座内容決定
自遊塾 (富山地区センター開講分)	4月～ 5月～ 12月～ 2月～	受講者決定、受講料受付(※県民教授) 講座開始 県民教授募集、決定 受講者募集
カレッジわくわくシアター	4月～ 8月～ 5月～2月	I期企画、参加者募集 II期企画、参加者募集 カレッジわくわくシアター開催

事業名	時期	スケジュール内容
学遊祭	9月～ 11月	発表、展示の準備 学遊祭
ホームページ	随時	お知らせ、講座イベントの様子、ダウンロードなど
会員管理	随時	カレッジカード作成、ID連携、メンテナンスなど
センターだより	7月 2月	No.28発行 6月作成、7月配布 No.29発行 1月作成、2月配布
学習相談	随時	サポート（電話、FAX、メール、窓口）
カレッジメイト活動支援	4月 5月～ 2月	名簿作成、保険加入 活動開始（講座受付、運営補助、学遊祭協力、仕分けなど） 次年度募集
学習室の提供	随時	使用規程、許可願、使用上の注意、使用一覧の作成
富山地区広域学習サービス連絡会議	12月	サービス連絡会議開催
視察、訪問対応	随時	リーフレット等の配布

3 講座

(1) 「つながる学びわくわく講座」つながるふるさと学びコース（地区連携型）

各地区センターが開講する地域の特色ある講義を順に聴講し、富山県全体を広い視野でとらえ、ふるさと富山の魅力について深く学ぶコースです。

令和7年度「LPB4 ふるさととやま 歴史紀行」第1回（概要）

- 1 日 時 令和7年5月19日（月）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター学習室
- 3 講 師 富山市教育委員会埋蔵文化財センター 主任学芸員 宮田 康之 氏
- 4 テー マ 秀吉の佐々攻めと関連城郭 一安田城・白鳥城・大峪城一
- 5 記 録 カメラ撮影による
- 6 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 「秀吉の佐々攻め」の概要
- ② 安田城について
- ③ 白鳥城について
- ④ 大峪城について
- ⑤ まとめ
- ⑥ 質疑応答

(3) 諸連絡

アンケート実施、次回予告

<意見・感想>

- ・とても聞きやすい講義でした。ありがとうございました。
- ・白鳥城中心に富山城への佐々攻めの安田城、大峪城、支城を築き戦いに向けた、佐々成政が降伏したのが分かった。安田城は国指定史跡だが、白鳥城は何もなく公園内に目立つことなく存在しており、もったいないと思う。時間があればもっと語って頂けたと思います。ありがとうございました。
- ・城址について詳しく知りたいと思っていたので興味深く聞くことができよかったです。
- ・秀吉の力がとても強かったことが分かった。戦国時代にかくもたくさんの小城を作ったものだと感心する。
- ・現地の地名や建物などの名前をあげられ私達に身近に感じられ、もっと興味を持って聞きし、理解できたと思う。
- ・安田城周辺で秀吉や佐々成政が活躍していたことがよくわかりました。市内で戦国時代の史跡を発掘調査し復元されていることをもっとPRして下さい。安田城は数回見学しました。
- ・内容がかなりマニアックで興味深かったです。城郭の歴史的价值が分かった。

【新川地区・高岡地区・砺波地区より】

- ・富山県に住んでいながら地元の歴史をよく知らなかったの、今回佐々攻めの関連城郭のことを知れてよかった。
- ・自分の住んでいる地域にどんな歴史があったのか、もっと知りたいと思った。いずれのお城もここまで詳しく発掘調査されていることは知らなかった。
- ・佐々攻めと関連城郭は、今まであまり関心がなかった城でしたが、宮田先生の講演で理解できました。平城（出城）と山城（本陣）との関連も立体的になっていたことがわかりました。
- ・知らなかった富山の歴史、地域に誇りを持たれた。
- ・中世期における「城」のイメージは少し違っていた事に気付かされた。



(2) 「つながる学びわくわく講座」つながるふるさと学びコース（地区単独型）

地方創生の観点から、地域コミュニティの再生、地域の歴史と文化の見直し、自然保護のあり方などを扱うコースです。交流型・発信型の講座を目指します。

令和7年度前期「LSF58 とやまの魅力」第1回（概要）

- 1 日 時 令和7年6月6日（金）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 18名（受講申込者：対面13名、オンライン5名）
- 4 講 師 富山市郷土博物館
学芸員 浦畑 奈津子 氏
- 5 講 義 題 チンドンマンと富山～チンドンコンクール 70年のあゆみ～
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

(1) 受付

(2) 開講式

(3) 講座内容

- ① はじめに
- ② チンドンコンクールのはじまり
- ③ 富山でのコンクール開催
- ④ 全国に知られたチンドンコンクール
- ⑤ 存続の危機にあったチンドンコンクール
- ⑥ 復活を遂げたチンドンコンクール
- ⑦ 参加型に進化したチンドンコンクール
- ⑧ 震災と新型コロナとチンドンコンクール
- ⑨ おわりに

(4) 諸連絡

次回の連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・資料が豊かで、おどろき！
- ・昔、会社から参加を要請されました。
- ・チンドンコンクールのはじまりについては知らなかったもので、よい学びとなりました。
- ・チンドンが富山の人々をはげましていたのだと思います。
- ・子どもの頃（70年近くも前）、派手な化粧と派手な着物、賑やかなチンドン屋さんの後に付いて行った記憶があります。チラシだか、紙吹雪だかもパツと上に向かってまかれました。富山のチンドンコンクールが努力によって続けられてきたことが、よくわかりました。ぜひ間近で見たいものだと思います。
- ・新型コロナによる3年間の中止から、富山市が復活されたチンドンコンクールを今後より魅力を増して開催し、続けていただきたいと思います。
- ・ただ見学していただけなので、背景・意義を改めて説明され、非常によかったです！！
- ・戦後の復興で始まったという事も初めて知り、富山の先人の偉大さを感じました。
- ・先生の力のこもったお話に引き込まれました。チンドンの会場の近くに住んでいるのですが、来年は孫と一緒にいこうと思いました。



令和7年度前期「LSF58 とやまの魅力」第2回（概要）

- 1 日 時 令和7年6月20日（金）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 23名（対面17名、オンライン6名）
- 4 講 師 富山市ファミリーパーク
園長 村井 仁志 氏
- 5 講 義 題 ライチョウの未来を考える！
- 6 取 材 2社（富山新聞社、北日本新聞社）
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

（1）受付

（2）講座内容

- ① 富山市ファミリーパークについて
- ② ライチョウのこと
 - ・ライチョウの分布
 - ・ライチョウの生活
 - ・ライチョウの一年
- ③ ライチョウ減少の理由
- ④ ライチョウ保護増殖事業
 - ・事業概要
 - ・生息域内保全（生活している環境の中での保護）
 - ・生息域外保全（遺伝子の保全）
 - ・野生復帰への協力
- ⑤ ライチョウを守ることの意義

（3）諸連絡

次回の連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・立山には何度か行きましたが、まだライチョウは見たことがありません。一度は見たいと思いますが、ライチョウのためには、人が近寄らない方がいいんですね。でも、ヒナがちょこちょこ歩く姿なんか見たら「うぎゃー、かわいい！」と大騒ぎするのは間違いありません。やはり映像だけでがまんするべきでしょう。
- ・ライチョウは立山で見られる最もかわいい動物で、多くの県民に親しまれています。その生息数の増加に取り組むことは必要だと感じています。
- ・市の管理よりも県の管理とした方が、絶滅危惧種の保護等でも良いのではないかと？
- ・1950年から、いろいろの条件が変わってきたことを意識できてよかったです。温暖化とかを思っていました、人の生活が変わったことだけでなく、里山生活がなくなってきたことなど、人の生き方も関係しているんですね。ありがとうございました。
- ・先日、テレビでも特番で見たライチョウの保全、感動ものでした。私達の為にもライチョウを守っていきたいと思います。
- ・立山開山の頃からの雷鳥の記述とかは無いものでしょうか？



令和7年度前期「LSF58 とやまの魅力」第3回（概要）

- 1 日 時 令和7年7月18日（金）13：30～15：30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 20名（対面15名、オンライン5名）
- 4 講 師 日本工芸会正会員
富山大学名誉教授・客員教授 林 暁 氏
- 5 講 義 題 漆工芸と美
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況



(1) 受付

(2) 講座内容

1. 漆工芸と美

- ① 現代において漆でモノを作る意味は？
- ② 「コト」と「モノ」について
- ③ なぜ漆工芸の道に進んだか？
- ④ 私が思う漆工芸の魅力

2. 漆工芸の伝統技術と現代のデジタル技術

- ① 歴史に残る日本の漆芸品
- ② 明治時代の漆芸
- ③ 近現代の漆工芸
- ④ 私の学生達の卒業・修了制作作品
- ⑤ 私の作品・制作物
 - ・私の仕事・作品
 - ・3DCADによる乾漆原型制作
 - ・コロナ禍での緊急時人工呼吸器の製作
 - ・技藝院（文化財保存・新造形技術研究センター）の仕事
 - ・高岡御車山などの修理調査

(3) 諸連絡

修了証授与、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・質疑応答での解説がよかった。わかりやすかった。
- ・うちにも漆の器やら何やらがありますが、戸棚の奥深くに眠っています。出して使います。
- ・うるしの大切さ、工芸品としても、生活の中の道具として使ってみたいと思いました。
- ・うるしの扱いは意外とシンプルという事で、これからはもっと使っていきたいと思いました。いつもしまい込んであるので・・・。
- ・林先生の漆器制作中の画像又は映像が見たくなりました。父はヌシヤをして建具等に漆を塗っていました。大変な作業・仕事と思います。

このたび7月18日（金曜日）開催の文化審議会において、林暁（はやしさとる）氏が重要無形文化財「髹漆（きゅうしつ）」技術の保持者（いわゆる人間国宝）として追加認定の答申がなされました

令和7年度前期「LSF59 とやまの未来を描く」第1回（概要）

- 1 日 時 令和7年5月24日（土）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 20名（受講申込者：対面16名、オンライン4名）
- 4 講 師 富山国際大学 現代社会学部
教授 大谷 友男 氏
- 5 講 義 題 北陸新幹線「金沢・敦賀」2つの開業のインパクト
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による

8 実施状況

(1) 受付

(2) 開講式

(3) 講座内容

- ① はじめに
- ② 北陸新幹線の概要
- ③ 短期的な金沢開業の効果や影響
- ④ 中長期的な金沢開業の効果や影響
- ⑤ 敦賀開業がもたらした影響
- ⑥ 本物志向の観光振興を
- ⑦ 北信越はひとつに
- ⑧ おわりに

(4) 諸連絡

次回の連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・私は転勤族で、東京、大阪、金沢、福井に住んだことがあるので、先生の統計結果から読み解くことも多かった。
- ・金沢開業時と敦賀開業時の富山でのメリットの格差がよく理解できました。
- ・交通機関で他工事により色々の仕方、使い方があるものですね。現在あるものをいかに利用するか、考えて使うものだとわかった。
- ・整備新幹線の利用、うまく使うのは、どうするか考えなければならないね。
- ・新幹線開業で、金沢がひとり勝ちと思っていましたが、駅西のほうは結構苦戦していると知りました。富山も北口エリアは閑散としています。総曲輪も人通りが少ない。みんなどこに行ったんでしょう。郊外の大型店？
- ・大阪までの新幹線、生きている間に実現できるかなあと思います。私より、ずっとお若い先生もそうおっしゃったので笑ってしまいました。
- ・ふだん通ったことのある場所のイメージが変わってきていると感じていたが、今の状況を話していただき、賑わい方が今までと違ってきていると感じた。人口、流通、情報などの流れが変わっているのだと思い知った。コロナでいろいろな動き方に変化があったことも関係あるのかな？新幹線はあまり利用しないので、．．．関東はありがたいです。
- ・新幹線の効果、北陸、北信越の現状を知ることができ、今後のことを考えるキッカケになりました。ありがとうございました。
- ・各地への移動時間が短くなれば、魅力的な観光地をより多く訪問できていいと思います。北陸新幹線の延伸を望んでいます。
- ・新幹線のこれからの利用増への対策は？
- ・今後の新幹線網の整備のメリットとは？



令和7年度前期「LSF59 とやまの未来を描く」第2回（概要）

- 1 日 時 令和7年6月14日（土）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 21名（受講申込者：対面17名、オンライン4名）
- 4 講 師 合同会社コトリ
代表社員 坂本 欣弘 氏
- 5 講 義 題 富山から世界へー映像体験を通じてー
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① はじめに
 - ・映画監督になるまで
 - ・富山に戻って
- ② 富山が映画の舞台として魅力的な理由
 - ・新湊の結婚式の撮影から
 - ・「春を背負って」からみた富山の魅力
- ③ 映画制作のプロセス：企画から完成まで
 - ・「真白の恋」からみる映画制作
 - ・「もみの家」からみる映画制作
- ④ 映画における芸術とエンターテインメント
 - ・映画ビジネス
 - ・ボンジュノ監督作品からみる映画芸術
- ⑤ 「幻の螢」「祝日」からみる映画制作
- ⑥ 映像体験の進化と未来

(3) 諸連絡

次回の連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・映画作りのプロセスが知れてよかった。
- ・映画が制作されるまでのことは、まったく知らなかったので、苦労を少しでも知ることができました。アートとエンターテインメントの視点は、考えてもみなかった。右向きと左向き、色の使い方、上手、下手、上、下など、映画の楽しみ方がひとつ増えました。
- ・映画は、子どもの頃から父に連れられてよく行ってました。映画はずっと身近に感じていました。自主制作というのは、不安定で本当に大変だと思います。私は山田洋次監督の作品が大好きで、「寅さん」「釣りバカ」は全部見ました。テレビでの再放送も見ています。「学校」「家族」も大好きです。先生はまだまだお若い。映画作りに情熱をたぎらせ続けていただきたい。私も見ることで応援したいと思います。
- ・富山県生まれの坂本欣弘さんが制作される映像・映画を今後も楽しみにしています。「真白の恋」をみて、とても感動したことを思い出しました。
- ・映画作りの苦労がわかりました。



令和7年度前期「LSF59 とやまの未来を描く」第3回（概要）

- 1 日 時 令和7年7月5日（土）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 19名（受講申込者：対面15名、オンライン4名）
- 4 講 師 富山大学
学長特命補佐 林 誠一 氏
- 5 講 義 題 学校を取り巻く環境の変化とこれからの教育
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

（1）受付

（2）講座内容

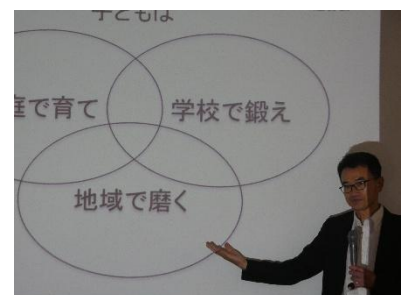
- ① 大きく変化する社会
 - ・日本の人口推移
 - ・急激に変化する時代
- ② 今の学校教育
 - ・富山県の中卒予定者数の推移
 - ・学習指導要領改訂の考え方
- ③ 子供に求められる能力
 - ・情報活用能力と探究的な学び
 - ・伸ばしたい力
 - ・能力等に対する需要の変化
- ④ これからの教育にどう向き合うか
 - ・学校・家庭・地域の役割
 - ・大切なこと

（3）諸連絡

修了証授与、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・興味深い内容でした。未来を考えた上で、今どうすればよいかを考えること！生きることも同様かと。
- ・今の小学校のパソコン授業風景を見てびっくり。あそこに私が放りこまれたらお手あげです。ただ、子供のときから、ああいう環境にいたら、最新機器何するものぞ、となるんだろうな、と思いました。私はまったくのアナログ人間ですが、子どもの頃、外で走り回り、遊び回ったことは幸せな時間でした。雨のときは読書三昧。なかなかいい子ども時代だったと思います。
- ・ムツカシカッタ 教育者になった事はないので、この考えで進むのが学習かと思いました。
- ・学童の支援員をしているので、興味深い内容だった。
- ・対話型の講義でおもしろかった。
- ・もっと講師の方と話しできる時間があれば。
- ・塾と学校の関係性はどうかあったら良いか。
- ・学校での読書での活用はどうなのか？



令和7年度後期「LSF66 とやまの魅力」第1回（概要）

- 1 日 時 令和7年11月14日（金）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 36名（受講申込者：対面27名、オンライン9名）
- 4 講 師 伏木曳山祭実行委員会研究部会 野口 安嗣 氏
- 5 講 義 題 伏木の歴史と文化
～伏木曳山祭を中心に～
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況



(1) 受付

(2) 開講式

(3) 講座内容

- ① 伏木の歴史的環境 —曳山を育んだ歴史—
 - ・律令時代以前
 - ・律令時代
 - ・中世：武家の時代
 - ・近世：勝興寺と加賀藩
- ② 伏木湊と廻船問屋 —曳山創設の土壌—
 - ・古代：巨理湊
 - ・中世～戦国時代：伏木浦
 - ・近世：加賀藩と伏木湊
 - ・近代の伏木港
- ③ 伏木の神社 —神々をつかさどる—
 - ・気多神社
 - ・伏木神社
 - ・海にまつわる神社（金比羅神社、魚取神社、稲荷大神）
- ④ 伏木曳山祭
 - ・祭礼は神を招く儀式
 - ・越中の曳山
 - ・伏木神社春季例大祭「けんか山車」
- ⑤ 伏木の文化 —伏木帆柱起し祝唄—

(4) 諸連絡

次回の連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・伏木を歩いていると、町の人が伏木に誇りと愛着を持っていることが感じられます。こんなに歴史と文化があったからなのだなと、今日の講義を聞いて思いました。「帆柱起し祝唄」は、いかにも海の男の踊りという感じでワクワクしました。カッコいい！
- ・どうして曳山が出来たか等、とても聞きとりやすく、知らない者にもわかりやすく、有難かったです。実際に見に行きたいと思いました！
- ・伏木のけんか祭りは迫力があり好きで、できるだけ見に行くことにしています。野口さんの講義でより深く伏木の魅力を知りました。
- ・日本海側の港が繁栄した様子がよくわかる説明でした。子供たちにも聞かせてやりたい。
- ・伏木＝名前だけの知識が奥深いお話しで楽しい学びでした。地元の事で知らない事が多い。外（県外、国外）へ目を向けがちでした。
- ・先生の伏木愛をビンビンに感じました。伏木にまた行ってみたいです。
- ・先生の話の内容が面白く、あっという間の2時間でした。たくさんの資料をご提示いただき、わかりやすく、内容の濃い講義でした。
- ・伏木湊と廻船問屋についてもう少し聞きたかった。
- ・歴史と神社の説明は良かったです。
- ・実際に関わっている祭の写真や映像があり、すごくわかりやすい。
- ・歴史を知り、それを守って行く皆さんも楽しい事だろう。

令和7年度後期「LSF66 とやまの魅力」第2回（概要）

- 1 日 時 令和7年11月28日（金）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 39名（対面30名、オンライン9名）
- 4 講 師 富山県水墨美術館
館長 桐井 昇子 氏
- 5 講 義 題 美術鑑賞はこころの旅
－「墨」にみる豊かな表現
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

（1）受付

（2）講座内容

旅を楽しむための7つのヒント

- ① 施設の個性を知る
- ① 何が描かれているかを知る
- ② 何が起きているかを知る
- ③ 誰が描いたのかを知る
- ④ 何で描かれているかを知る
- ⑤ どのように描かれているかを知る
- ⑥ 何に描かれているかを知る
- ⑦ どのように展示されているかを知る

（3）諸連絡

次回の連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・対面し理解して行くべきと思いました。
- ・墨画、日本画でくわしく教えられたことは大変知識増となりました。
- ・水墨画の材料や道具の講座があるようなので興味を持ちました。
- ・絵の見方を具体的に教えていただきありがとうございました。
- ・水墨美術館の建物は秀逸だと思います。行く度にそう感じます。
- ・展示の工夫があることを知り、これからはその様な点にも注意して観たいと思いました。
- ・美術品の見方について、わかりやすく、教えていただきました。
- ・右・左と時間・季節についての説明は、よかったですと思います。
- ・日本画にも新しい試みを酷評に負けずされてきたという歴史を聴くことができ興味深かった。
- ・教えて頂いた7つのヒントを元に美術鑑賞しようと思います。
- ・富山県には美術館や博物館がたくさんありますが、水墨美術館は、他県に余りないのではないのでしょうか。何とも品良く、悠然とした存在ですね。その素晴らしい美術館を長く支えてこられた事に敬意を感じます。
- ・絵の見方、教えて頂きましたが、中々身には付きにくいと思う。
- ・桐井館長のお話を受け、作品をもっと深く理解して、鑑賞できるようになりたいと感じました。
- ・たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- ・自己流でした。時間をかけてみることにします。
- ・全てが新鮮で、目から鱗が落ちる思いでした。歴史や表現方法、考え方、とらえ方、等々、全てが勉強となりました。
- ・絵をみるにあたり、描かれているアイテムの意味をさぐるおもしろさを知ることができた。
- ・心を自由にして鑑賞する。



令和7年度後期「LSF66 とやまの魅力」第3回（概要）

- 1 日 時 令和7年12月19日（金）13:30～15:30
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- 3 受講者数 41名（対面32名、オンライン9名）
- 4 講 師 富山県農林水産総合技術センター
水産研究所 栽培・深層水課
主任研究員 福西 悠一 氏
- 5 講 義 題 富山湾の魚を増やす～作り育てる漁業～
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況
(1) 受付
(2) 講座内容
 - ① 作り育てる漁業（栽培漁業）とは
 - ② ヒラメの栽培漁業
 - ③ キジハタの栽培漁業
 - ④ アカムツ（のどぐろ） 種苗生産技術開発に関する研究
- (3) 諸連絡
修了証授与、アンケート実施
- 9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・氷見のセンターへ行ったことがあったので、イメージがしやすかったです。陸上でも育て方が変わっているけど、海でも栽培漁業が広く行われており、今後の食に不安もあります。
- ・栽培漁業について知ることができ良かった。のどぐろだけでなく、キジハタも知ることができた。キジハタは、さしみが大好きです！
- ・非常に興味深く拝聴出来て感激した。食料の確保、技術の開発に感謝したい。
- ・楽しく美味しい講義です。良かったです。食卓に会話も増え、すてきな花が（？笑）咲きそうです。
- ・研究はたいへんだとよくわかりました。
- ・お話がとてもわかりやすく、あっという間の2時間でした。知らない事が多く、たいへんためになりました。
- ・聴衆をあきさせない工夫が随所に感じられた。ありがとうございました。
- ・アカムツの栽培漁業につき、よく解りました。
- ・とてもわかりやすく、お魚を買いに行くのが楽しみです。
- ・資料と説明はとても良かったです。
- ・近所のスーパーで、鮎みたいにな小さなサイズのノドグロが3匹パックで300円ぐらいで出ていることがあります。ノドグロとはあってもあまりにも小さい。食べるころはあるのか？ということで買ったことはありません。大きな店ではちゃんとしたサイズのものがあるのでしょうか、それだと値段的に手が出ません。いつの日か、まともなノドグロを食べてみたいと思います。
- ・もっと県民にPRすべきでは？レストラン併設とか・・・。水産研究所の講義は3回目です!!
- ・スーパー店頭で栽培魚、わかればもっと関心高まると思う。
- ・福西先生の研究によりアカムツ栽培漁業が進み、国民が身近にアカムツを食べられるようにしてください。これからも研究をよろしくお願いします。
- ・富山県でこんな研究をされている方がおられることを初めて知りました。
- ・全く知らない分野でしたが、とても面白く聞けました。実験のトライ＆エラーの話が特に面白かったです。今後もメスの割合が増える結果が出ることを楽しみにしています。
- ・漁業（栽培漁業）の裏舞台をすごく覗けてよかったです。
- ・もっとメディアでも取り上げてほしいと思った。
- ・店頭で並んでいる魚を見る目が変わりました。



令和7年度「LSF67 みんなの笑顔を守る」第1回（概要）

- 1 日 時 令和7年11月8日（土）10:00～12:00
2 場 所 県民カレッジ富山地区センター学習室
3 受講者数 19名（受講申込者：対面13名、オンライン5名）
4 講 師 富山短期大学食物栄養学科 教授 竹内 弘幸 氏
5 講 義 題 健康を守る ～気になる食の安全問題～
6 取 材 なし
7 記 録 カメラ撮影による

8 実施状況

(1) 受付

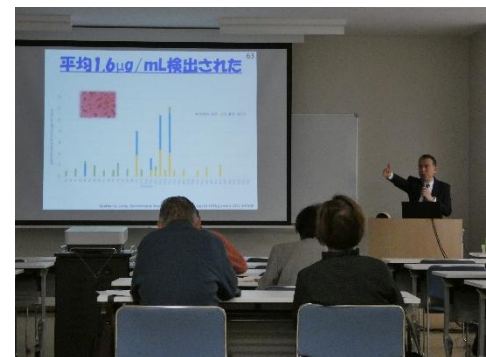
(2) 講座内容

- ① 安全な食べ物とは
- ② 食中毒について
- ③ 窒息事故と予防法、対処法
- ④ トランス脂肪酸についての研究結果と捉え方
- ⑤ マイクロプラスチックの汚染状況や生態系への影響について
- ⑥ 質疑応答

(3) 諸連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・聞きとりやすい話し方で、内容も分かりやすかったです。参加できてよかったです。ありがとうございました。人参にもマイクロプラスチックが吸収されているとは…。
- ・マーガリンのトランス脂肪酸が健康面を配慮して最近大幅に減らされたことを知り安心しました。
- ・食べ方について考える機会をいただきました。ありがとうございました。
- ・マイクロプラスチック・ナノプラスチックはあらゆる食品、飲み物に含まれている（海洋中、空気中にも?!）ことに、いったいどうすればいいのだ、と思いました。
- ・トランス脂肪酸やマイクロプラスチックはこれからの我々の問題だと感じます。改めて反省やらもっと勉強するの必要を感じた。
- ・銀杏でも中毒になるとは知らなかった!!参加してよかった。マイクロプラスチックの怖さをしみじみと感じた。これ以上聞くと何も食べられなくなると思う!!
- ・ニンジンにも入っているのに緑黄色野菜をとった方が良い?
- ・毎日の食品の安全・安心を考えさせられた。
- ・最近の通販の健康食品・保険機能性食品などの安全性などについて知りたい。と思った。
- ・家庭用ゴミでプラスチックの廃棄物が以前からみるとかなり多くなったように思う。包装に関する取り組みが行われているのか知りたい。と思った。
- ・アニサキスの写真を見たかった!
- ・農業について、安全・安心な農作物について。
- ・食べ物・食品と体との有効性、今、四毒についてもお教えして欲しい。



令和7年度「LSF67 みんなの笑顔を守る」第2回（概要）

- 1 日 時 令和7年11月22日（土）10:00～12:00
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター学習室
- 3 受講者数 19名（受講申込者：対面13名、オンライン5名）
- 4 講 師 （一社）日本樹木医会富山県支部 顧問 西村 正史 氏
- 5 講 義 題 松川の桜を守る
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 松川と松川桜並木の歴史と現状
- ② これまで実施されている維持管理
- ③ 松川さくらサポーターの会による活動
- ④ サクラの生育特性
- ⑤ 松川の桜ソメイヨシノ、県内の桜の種類
- ⑥ 質疑応答

(3) 諸連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・松川の桜は毎年きれいに咲くものと思っていましたが、ずいぶん細かく手入れされていることを知りました。ありがとうございました。
- ・来春の花見が楽しみです。ありがとうございました。
- ・桜のことが充分解り（害虫など）良かったです。桜の種類が多いのに驚かされた。これからは花を観察してみよう。
- ・たくさんの桜紹介して頂きありがとうございました。
- ・盛土はしないという事を教えていただきありがとうございました。
- ・毎年松川の花見を楽しんでいます。桜の維持管理に多くの方々がご尽力されていることを知り、関係の方々に感謝申し上げます。
- ・きれいな桜の花を咲かせるのにいろいろな人の手が加わり一年に一度楽しめることに感謝を感じた。
- ・桜を守っていただき感謝です。今日の講義で何気なく見ていた桜ですが、より関心が持てました。松川等の散歩を楽しみたいと思います。
- ・サクラってなかなかデリケートなものだと思いました。よく葉の先から幼虫がぶら下がっていて、下を通りかかるとギョツとなりましたが、あれはモンクロシャチホコだったのですね。あれぐらいウジャウジャいたら落ちてくるのも無理はない、と思いました。植物園の菜の花は見栄えをねらったのかと思っていましたが、あれは人除け対策だったのですね。
- ・キレイなサクラ、色々とお手入れして育ててあるのですね。
- ・沢山の桜の種類が良くわかりましたが、しだれ桜との違いなどもあるのでしょうか？



令和7年度「LSF67 みんなの笑顔を守る」第3回（概要）

- 1 日 時 令和7年11月29日（土）10:00～12:00
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター学習室
- 3 受講者数 19名（対面16名、オンライン3名）
- 4 講 師 往診専門動物病院まりこ動物往診所
獣医師×中獣医鍼灸師×防災士 竹野 まりこ 氏
- 5 講 義 題 動物と人を守る ～日々命と絆にふれる往診日記、
獣医師×防災士の立場からみる災害時の備え～
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況



(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 獣医師の仕事内容
- ② 往診専門動物病院とは？受けられるサービス内容について
- ③ 往診診療ならではの在宅サービスとは？適している状況等
- ④ 飼育動物の高齢化に伴う医療サービスの変化について
- ⑤ 動物の中医学、鍼灸、漢方について
- ⑥ 災害時のペット同行避難と避難所での課題や気づき
- ⑦ 避難所運営ゲーム HUG の紹介映像視聴
- ⑧ HUG の実践

(3) 諸連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・ 日頃の予備計画の必要性を実感した。
- ・ おもしろかった。このゲームを通して考えさせられることが良くわかった。
- ・ HUG できなくて残念でした。
- ・ 動物は飼っていないですが、新しく考え方を知ることができました。
- ・ 時間がありゆっくりこのゲームに取り組むことが良かった。
- ・ 避難所で受入ができなかった時はどうしたらよいか。

(3) 「つながる学びわくわく講座」つながる体験コース

現地研修や映像視聴を通して、ふるさとの姿に触れることを重視したコースです。

令和7年度「LAF26 伝統と継承」第1回（概要）

- 1 日 時 令和7年5月15日（木）10:00～12:00
- 2 場 所 株式会社島川【工場】（富山市）
- 3 講 師 株式会社島川 代表取締役社長 島川 晋 氏
- 4 テー マ 麦芽飴 360年の歴史と製造過程を知る
- 5 記 録 カメラ撮影による
- 6 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 飴製作体験
- ② 麦芽飴の原料、桶の見学
- ③ 富山売薬とともに発展した飴屋と印刷会社
- ④ 麦芽飴の原料の移り変わり
- ⑤ お菓子としての飴
- ⑥ 質疑応答

(3) 諸連絡

次回の連絡

アンケート実施

<もっと知りたかったことについて>

- ・工程をもっと知りたかった。水あめの状態、煮詰めている所など。
- ・麦芽飴と普通の飴との違い。麦芽飴を使った料理 etc
- ・麦芽糖製品（水あめ、固形あめ）を菓子材料として用いる場合の特徴・利点はなんのでしょうか。洋菓子では通例グラニュー糖を用いますが風味がないので、たとえば麦芽（モルト）の香りづけに有用な気がします。パンではわざわざ香りづけのためモルトシロップ（需要がすくないので高価）をつかったりします。

<意見・感想>

- ・大変おもしろかったです。早く次の後継者が決まることを祈っています。
- ・あめ作りの体験が良かったです。伝統がしっかり守られてよかった。
- ・こんなに古くから歴史あるお店だとは知らずにいました。ぜひ今後も続けて頂きたいと思います。
- ・体験もあり、良かったです。
- ・飴作りとても貴重な体験。実地体験がなにより。
- ・質疑応答でたくさん考えていただいてよかった。
- ・桶とか鍋の中の大きな写真とかあれば良い。
- ・研修前の予備知識を得るため市販の飴を手にとってみましたが成分としてシヨ糖、水飴（割合は不明）が多かったのですが、シヨ糖を加えるのはコストを考慮してなのか、水飴だけでは作りにくいのか気になりました。



令和7年度「LAF26 伝統と継承」第2回（概要）

- 1 日 時 令和7年5月22日（木）10:00～12:00
- 2 場 所 ほたるいかミュージアム（滑川市）
- 3 講 師 ほたるいかミュージアム 館長 小林 昌樹 氏
- 4 テー マ ホタルイカと滑川 ～歴史と生態を知り、この目で確かめる～
- 5 記 録 カメラ撮影による
- 6 実施状況

（1）受付

（2）講座内容

- ① 定置網漁について
- ② ホタルイカ展示の難しさ
- ③ ホタルイカの歴史
- ④ 富山県の観光資源としてのホタルイカ
- ⑤ 発光ライブショーとホタルイカの生態
- ⑥ 質疑応答

（3）諸連絡

次回の連絡

アンケート実施



<もっと知りたかったことについて>

- ・水産物として、どのような商品で流通が多いのか知りたいです。
（長期保存できる加工品）
- ・ホタルイカのエサは何？
- ・食の利用について
- ・日本海側だけなのですか。
- ・具体的にはないですが、いろんなネタをお持ちのようなのでもっと聞きたかったです。

<意見・感想>

- ・長時間の説明で大変わかりやすく、特に展示スタッフの苦労や手間を初めて知ることができました。深層水の意味（未利用のミネラル）も理解でき、よかったです。
- ・県内にいながら初めて来ました。とても分かり易くて、ありがとうございました。
- ・実際の職員さんの御苦労がよくわかりました。富山県のほたるいかがいかに貴重で大切なものが本当によくわかりました。これからも実地研修を増やしてください。
- ・見学に来ることはありましたが、先生のお話を聞くと今まで見えていないものがたくさんあることがわかりました。ありがとうございました。
- ・普段聞けない話で良かった。
- ・苦労あつての展示だとわかりました。
- ・ホタルイカの生態がよくわかりました。色々な体験とても良かったです。とても貴重な富山県の誇れる魚と思います。
- ・個人で来てもこれだけ詳しくお話が聞けないところ、様々な疑問に答えていただき、良かったです。
- ・とても良かった◎わかりやすかった。話も上手。

令和7年度「LAF26 伝統と継承」第3回（概要）

- 1 日 時 令和7年5月29日（木）10:00～12:00
- 2 場 所 常西用水土地改良区上滝出張所（富山市）
- 3 講 師 常西用水土地改良区 事務局長 水谷 英二 氏
- 4 テ ー マ 常西合口用水 130 年、世界かんがい施設遺産に登録
- 5 記 録 カメラ撮影による
- 6 実施状況

（1）受付

（2）講座内容

- ① 映像「常西合口用水の物語」視聴
- ② 安政の大地震とヨハネス・デ・レーケの治水事業
- ③ 常西合口用水の世界かんがい施設登録の流れ
- ④ 常西用水プロムナード散策
- ⑤ 用水と農業
- ⑥ 質疑応答

（3）諸連絡

次回の連絡

アンケート実施



<もっと知りたかったことについて>

- ・用水系統毎の取水量の振り分け方法（何かの基準があるか）、売電の収益額（年間等）
- ・情報量がありすぎて、（全部）消化しきれなくて、機会があったらもう一度聞きたいです。

<意見・感想>

- ・用水の使われ方が理解できた。現地での説明もあり良かった。
- ・さまざまな配慮をされて今に至ると思うと感謝でいっぱいです。大変おもしろかったです。
- ・平野部の発電所をさらに詳しく知りたい。
- ・とても水の流れや有難さがわかりました。
- ・現場を見学と説明していただき、ありがとうございました。
- ・参加してよかった!!皆様のご苦勞に感謝して。
- ・富山はとっても水が豊富そしておいしいことが理解できました。新緑もいいけれど、桜満開時期に今日のコースで散策してみたいです。ありがとうございます。

令和7年度「LAF26 伝統と継承」第4回（概要）

- 1 日 時 令和7年6月12日（木）10：00～12：00
- 2 場 所 株式会社タニハタ本社・富山工場（富山市）
- 3 講 師 株式会社タニハタ 代表取締役社長 谷端 信夫 氏
- 4 テ ー マ サステナブルなモノづくり：伝統木工技術と環境問題への取り組み
- 5 記 録 カメラ撮影による
- 6 実施状況

（1）受付

（2）講座内容

- ① 株式会社タニハタの変遷と時代に合わせた取り組み
- ② 組子製作体験
- ③ 組子の材料となる木材の解説
- ④ 工場見学
- ⑤ 環境に配慮した社内施設の見学
- ⑥ 質疑応答

（3）諸連絡

修了証授与

アンケート実施



<意見・感想>

- ・職人さんすばらしい。細かい作業がんばってください。
- ・楽しかったです。家の障子戸にある柵の模様も、手の込んだものだと思い知りました。
- ・体験もあり、今後の建具の見方の参考になります。
- ・職人としてのプロ意識がとても高くてすばらしいと感じました。
- ・職人さんが一番大切にしていること、苦労していることがよくわかりました。製作の工程を詳しく解説いただきとてもわかりやすかったです。
- ・学校などへ多く設置をして広めていただければと思います。木材の詳しい説明をいただけ、大変参考になりました。
- ・工場見学も組子の体験もどれも大変良かったです。こんなすばらしい伝統工芸は、是非伝承して、そして世界へ発信してほしいです。このような講義があれば、また参加したいです。

令和7年度「LAF30 続・伝統と継承」第1回（概要）

- 1 日 時 令和7年10月16日（木）10:00~12:00
- 2 場 所 薬種商の館 金岡邸（富山市）
- 3 受講者数 19名
- 4 講 師 薬都とやまくすりの語り部 安岡 隆 氏、松本 知子 氏、布村 浩志 氏
- 5 講 義 題 売薬の歴史と金岡邸
- 6 取 材 1社（富山新聞社）
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 金岡邸の4つの見どころ、看板について
- ② 薬の原料、ジャコウジカのはく製、昆布ロードについて
- ③ 売薬業から発展した富山県の産業について
- ④ 売薬さんの道具（懸場帳、行李、おまけ）の詳細
- ⑤ 金岡邸の家系図とそれぞれの業績について
- ⑥ 金岡邸の建築的な魅力について
- ⑦ 質疑応答

(3) 諸連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・実地研修は、直近に見ながら学べるので良く理解でき、楽しかった。
- ・祖父が売薬をしていたので（私が生まれる前に亡くなった）、売薬業に関する興味があり、一度訪れたいと思っていたので、大変良かったです。家に乳ばち等があった。
- ・初めて訪れました。もう一度ゆっくり来たいです。
- ・素晴らしい建物、わかりやすいお話、富山の歴史についていろいろ関係も含めて知ることができました。ありがとうございました。
- ・富山県にいて今回初めて金岡邸を知りました。大変勉強になりました。
- ・富山藩の薬の力の入れようがよくわかりました。売薬のこれからの販路についてドラッグストアが進出してきて苦しくなっていくような気がしますので、これからも頑張ってもらいたい。
- ・大変おもしろかったです!!以前来たことありましたが、やはり専門の方の説明があると大分理解がちがいます。
- ・初めて金岡邸に来ました。小説の中で読んだ世界が具体的に見られて大変よかったです。
- ・とても薬の事がわかりました。薬の歴史が先人の苦勞の末に継続出来ている事がわかりました。
- ・薬を作る体験もしてみたかった。
- ・現在の売薬製造の課題（原料の入手など）
- ・薬の流通、日本全国にどのような方法で薬を運んだのか。



令和7年度「LAF30 続・伝統と継承」第2回（概要）

- 1 日 時 令和7年10月30日（木）9：00～12：00
- 2 場 所 富山ガラス工房（富山市）
- 3 受講者数 18名
- 4 講 師 富山ガラス工房 普及推進部長 名田谷 隆平 氏
- 5 講 義 題 「市民参加世界一」のガラス工房
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況
 - (1) 受付
 - (2) 講座内容
 - ① 富山県のガラスの歴史
 - ② 富山をガラスの街として売り出した経緯
 - ③ 若い作家の育成と定住に向けた取り組み
 - ④ 質疑応答
 - ⑤ ガラス製作体験
 - (3) 諸連絡、アンケート実施
- 9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・ありがとうございました。又、参加したいです!!
- ・体験してみることは大変有意義で面白いです。初めてでしたが、少しだけガラス工房の一部を楽しく体験できました。
- ・新しいことを体験できて楽しかったです。富山の産業・文化が薬とつながっていることを、また感じることができました。ありがとうございました。
- ・ガラス作家さんの多さにびっくりしました。富山はなぜガラスなのかと思ってましたが先生の説明でよく分かりました。
- ・この年齢で初体験だったにもかかわらず、親切にご指導していただき、すばらしいものができあがるその過程が楽しく、再度体験したいなアと思いました。
- ・このような体験や地域に向向くことがとても楽しく、身体で覚えられるので良い。又よろしくお願い致します。
- ・いろんな作品があつてビックリしました。次に機会があれば違うものを作りたい。
- ・名田谷先生ありがとうございました。次回はガラスのおすしに挑戦したいですね。
- ・最初の座学も大変おもしろく、体験もこういう機会がないとやらないのでいい経験になりました。
- ・富山がガラスに力を入れていることがよくわかり、県民としてももっとアピールしていきたいと思いました。
- ・ガラス体験の作業（成形時）の温度。必要な軟化温度が高い程、成形の時間が限られると思うので熟練が必要でしょうか？
- ・富山のガラスの現在を端的に知ることができよかったです。
- ・ペーパーウェイトを作る行程（一連）を最初に聞いてから作業に入りたかったです。
- ・制作実習の各加工工程とポイントについて、最初に座学をいただけたら良かった。（どのように模様が作れるのか理解して取り組むとやりやすいと思いました。）



令和7年度「LAF30 続・伝統と継承」第3回（概要）

- 1 日 時 令和7年11月6日（木）9：15～10：45
- 2 場 所 猪谷関所館（富山市）
- 3 受講者数 14名
- 4 講 師 猪谷関所館 館長 丸山 正宏 氏
- 5 講 義 題 越中を襲った江戸時代の災い ～関所番人橋本家が綴った記録より～
- 6 取 材 なし
- 7 記 録 カメラ撮影による
- 8 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 猪谷関所館の見どころ
- ② 江戸時代にかけて越中を支配した武将と加賀藩
- ③ 関所の役割と橋本家
- ④ 震度・マグニチュードと安政飛越地震の被害について
- ⑤ 富山の大火とその被害について
- ⑥ 展示物の解説
- ⑦ VR籠渡し体験

(3) 諸連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・初めて来ましたが、興味のあるものが多く、また来たいです。
- ・もう少しゆっくり説明を聞きたいと思いました。
- ・実際に来てみて足を運んでみてわかることもあり…来てみてよかったです。
- ・館長の丸山先生の講義が大変良かった。富山藩の流れも大まかにスピーディーに聞くことができた。又、機会があれば講義を受けたい。
- ・富山市になっても遠いので来ることはなかったが関係の深い所でいろいろと知ることができました。
- ・館長のスライドと講話が非常にわかりやすい（年代を問わない話し方）ので良かったです。
- ・せっかく知識豊かな先生なので、もう少し時間あったらいいなと思いました。
- ・時代背景が幕末の頃と似ているなあと思う今日この頃です。富山藩が「官軍」として北越戊辰戦争等活躍したということで…心配しています。
- ・富山の歴史について一つ一つもっと知りたいと思った。
- ・古道（街道）の変遷（土木技術）について詳しく知りたい。



令和7年度「LAF30 続・伝統と継承」第4回（概要）

- 1 日 時 令和7年11月20日（木）10:00～12:00
2 場 所 舟橋村立図書館 他（舟橋村）
3 受講者数 17名
4 講 師 舟橋村立図書館 名誉館長 高野 良子 氏
5 講 義 題 一村活性化のためにー ・図書館の取り組み30年
6 取 材 なし
7 記 録 カメラ撮影による

8 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 舟橋村の発展や村存続の危機について
- ② 舟橋村立図書館の歴史
- ③ 竹内天神堂古墳について
- ④ 無量寺の見学
- ⑤ 竹内天神堂古墳の見学
- ⑥ 質疑応答

(3) 諸連絡、アンケート実施

9 主な感想（アンケート自由記述欄より）

- ・舟橋村は初めて訪れました。駅と図書館が一緒になっているとは聞いていましたが、とても素敵な所でまた来たいと思います。
- ・図書館について聞く機会がなかったので、いろいろ知れて嬉しかったです。寺や神社が近くににあったことすら、知らなかったです。天気が良くて山がきれいに見れて、記念すべき一日でした。
- ・大変良いチャンスで良かったです。舟橋村良いですね～。
- ・館の蔵書の特徴を、開架スペースで紹介していただければ良かったです。
- ・舟橋村に無量寺というこんな立派なお寺があったことにびっくり！見学させていただきありがとうございました。
- ・舟橋村ががんばっておられることに感激。図書館の読書通帳があると知ることができ良かったです。
- ・舟橋村の内容がよく分かりました。
- ・中高生が利用するための取り組み（学習の場だけでなく、興味ある分野の成書を知り読みこみの習慣をつけるためのアプローチ）
- ・村の文化財



(4) 「こどもまんなか教室」

小学生とその家族が地域の魅力を体験しながら学ぶ教室です。

令和7年度「目指せ☆色鉛筆マスター」(概要)

- 1 日 時 令和7年8月8日(金) 10:00~12:00、14:00~16:00
- 2 場 所 県民カレッジ富山地区センター学習室
- 3 講 師 写真画家 谷 英志 氏
- 4 テー マ 鉛筆・色鉛筆で描く写真画教室
- 5 記 録 カメラ撮影による
- 6 実施状況

(1) 受付

(2) 講座内容

- ① 経歴と作品紹介
- ② 写真画に適した写真の選び方
- ③ 写し紙づくりと下書き
- ④ 作品制作
- ⑤ 鑑賞会

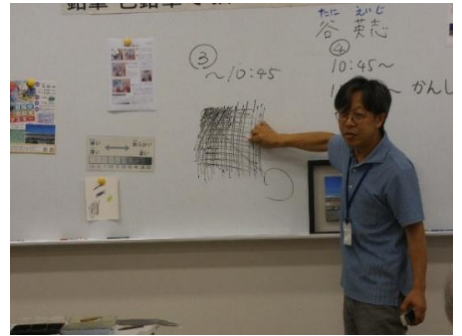
(3) 諸連絡、アンケート実施

<子ども>

- ・本かくてきな絵がかけられるような体けんができてうれしかった。グラデーションや色のメリハリを知ることができたので絵をかくときにさんこうにしながらかいてみたいです。
- ・新しい絵のかきかたや色の使い方等をよく知れたので家や学校でも使ってかいてみたい。
- ・さいごにかんしょう会があって自分の絵に自信がついた。
- ・あまりおそわらないいろえんぴつをまなべてよかったとおもいました。
- ・自分の絵をほめてくれた人がいてうれしかったです。
- ・下にはさんでかくかき方をはじめてしまったからいろいろなかき方があることを知れた。
- ・グラデーションや光ぐあいをいかして、実際にやってみたらみんなに感想をたくさんかいてくれて、うれしかったです。
- ・自分がふだんいきせずつにかいていた所も、少しいねいにかくと、もっと作品のよさがひきだされることがわかった。これからもここで学んだことを生かして絵をかいていきたい。
- ・今日、谷先生に教えてもらった内容がとても分かりやすくて楽しかったです。だんだんグラデーションや色のまぜ方などを理解できて、ほめてもらえたときはうれしかったです。次あるとすればカブトムシ再チャレンジしたいです！
- ・色鉛筆で絵をかくときのコツや、そのために大切なことを、この教室でわかってよかったです。

<大人>

- ・家でゲームやパソコンの時間が増えてきた中で、楽しんで絵を描いている子どもを見て、私も楽しかったです。みんなの作品をみんなで観る機会は少し恥ずかしかったけど、コメントもらえて嬉しかったです。
- ・絵は苦手なので、孫を参加させる為に出席しましたが、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・子供に新しいことに興味を持たせたりチャレンジするきっかけになればと思い参加しました。親子ともども熱中して楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。



(5) 共学講座

雄峰高等学校の授業の一部を科目履修制度に基づき社会人に公開するもので、高校生と共に学ぶ講座です。

	教科	講座名	期間	曜日	時間	
昼間	国語	現代文に親しむ	通年	水	13:25~15:05	
		古典に親しむ	通年	金	8:55~10:35	
	地歴 公民	歴史総合	通年	月	10:45~12:25	
		地理総合	通年	水	10:45~12:25	
		「倫理」研究	通年	月	13:25~15:05	
		「政治・経済」研究	通年	金	10:45~12:25	
	数学	確率、図形を学ぶ	通年	月	8:55~10:35	
		数列、統計的な推測を学ぶ	通年	木	8:55~10:35	
	理科	生活の中の科学	通年	金	8:55~10:35	
		生物と生命現象	通年	水	10:45~12:25	
	音楽	鑑賞研究①	通年	火	10:45~12:25	
		鑑賞研究②	通年	金	10:45~12:25	
	美術	ビジュアルデザイン	通年	火	10:45~12:25	
		クラフトデザイン	通年	金	13:25~15:05	
	書道	生活の中の書①	通年	火	8:55~10:35	
		生活の中の書②	通年	火	13:25~15:05	
	外国語	実践英語	通年	火・金	8:55~10:35	
		中国語入門	通年	月	10:45~12:25	
		中国語会話	通年	月	8:55~10:35	
	家庭	服飾手芸①	通年	月	13:25~15:05	
服飾手芸②		通年	水	13:25~15:05		
情報	情報Ⅰ	通年	月	13:25~15:05		
情報・ 商業	情報処理を学ぶ	通年	木	8:55~10:35		
	簿記を始めよう	通年	水	8:55~10:35		
夜間	地歴 公民	入門・とやまの歴史	前期	火	17:30~19:00	
				金	17:45~19:15	
		世界の国々	後期	火	17:30~19:00	
				金	17:45~19:15	
	外国語	英語会話	通年	月	17:45~19:15	
		簿記	通年	月・水	19:30~21:00	
	商業	初めての簿記		後期	水	17:45~19:15
					木	19:30~21:00
初めてのパソコンワープロ		後期	火	19:40~21:10		
				金	19:30~21:00	



現代文に親しむ



「倫理」研究



クラフトデザイン



実践英語



服飾手芸



簿記を始めよう

◇アンケート結果より

高校生	授業の総合的な感想	大変よかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	回答数 216
		82 (38.0%)	122 (56.5%)	8 (3.7%)	4 (1.9%)	
高校生	社会人の方と一緒に授業を受けた感想	大変よかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	回答数 209
		75 (35.9%)	125 (59.8%)	8 (3.8%)	1 (0.5%)	
社会人	講座の総合的な感想	大変よかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	回答数 62
		48 (77.4%)	13 (21.0%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	
	高校生と一緒に授業を受けて、よかったと感じた点(複数回答可)	高校生と話げできた	高校生に刺激を受けた	授業に真剣に取り組めた	高校生と親しくなった	回答数 92
		30	30	20	5	

高校生と共に学んで（社会人の感想から）

- ・若い人と一緒に学ぶのは楽しかったです。(同意見5名) ・楽しく新鮮に授業を受けられた。(同意見3名)
- ・高校生の素敵な才能に出会い、とても新鮮な気持ちになります。それと高校生には負けられないという競争心が芽生えました。(同意見2名)

社会人と共に学んで（生徒の感想から）

- ・幅広い年齢層の考えが聞ける。(同意見8名) ・社会人視点での質問が聞けて面白い。(同意見3名)
- ・私たちとは違う作風だったのが、面白かった。(同意見1名)

(6) 教養講座（県民カレッジ委託）

県内各地から、様々な分野の専門知識や技術、豊富な経験を有する講師を招き、今日的なテーマについて学ぶ講座です。富山県生涯学習カレッジが富山県生涯学習団体協議会に委託して実施する講座です。

1 実施状況

- ・ 開設期間 5月16日（金）～10月10日（金） 13：30～15：30 8回
- ・ 会場 県民カレッジ富山地区センター学習室
- ・ 募集人数 100名 ・ 受講登録者 79名 ・ 延べ受講者 386名

2 講座一覧

テ ー マ 「豊かな暮らしを求めて」 — 学びの楽しさ —			
回	月 日 (曜)	演 題	講 師
1	5月16日(金) 【開講式】	立山連峰の地形と氷河	富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課 課長補佐 福井 幸太郎
2	5月30日(金) 【現地研修】	里山の自然を楽しむ <富山市ファミリーパーク>	富山市ファミリーパーク職員
3	6月27日(金)	栄光のギター・ スペインの光と影	四十谷ギター学院主宰・ クラシカルギターリスト 四十谷 隆司
4	7月11日(金)	花の咲く植物観察	富山市科学博物館 学芸員 太田 道人
5	8月 1日(金)	日本で最初に車が走った 頃の話 あれこれ	日本自動車博物館 顧問 原島 義正
6	8月29日(金)	世界で最も美しい富山湾	美しい富山湾クラブ 理事・事務局長 高桑 幸一
7	9月12日(金)	神通川船橋 —近世富山の町づくりと交通	富山市民芸館 館長 坂森 幹浩
8	10月10日(金) 【閉講式】	走る喜びをすべての人に	一級建築士・ NPO ギソクの図書館メンバー 吉川 和博

3 受講者の感想及び記録

立山連峰の地形と氷河

講師 福井幸太郎氏

立山の地形を表すキーワードとして、①上昇の山（地殻上昇の山）②氷の山（氷河の山）③火の山（活火山の山）④水の山（治水・砂防の山）の四つが挙げられる。その内の②氷の山（氷河の山）が今回のテーマである。

氷河とは「重力によって長期間にわたり連続して流動する雪氷体（雪と氷の大きな塊）」と定義され、長く日本国内には氷河が存在しないと言われてきた。しかし、2012年になってそれまで「万年雪」と表現されていた雄山や剣岳の雪渓が「氷河」とであると認められた。

恐竜の時代は地球全体が比較的温暖だったが、その後気温の上下を繰り返す時期がやってくる。その低温期に氷河が形成され、立山でも当時は室堂平が氷河に覆われていたと考えられる。1902年には「山崎カール」

（カール：氷河の源流部で形成された谷）として知られる山崎直方が、立山にかつて氷河が存在した可能性を示唆していた。

最新の研究で、日本の氷河は全国で9か所、そのうち立山連峰周辺に6か所存在していることがわかった。立山の氷河には、最大の厚さが60m超、長さが1kmを超えるものもある。このように日本で氷河の存在が確認できるようになったのは、氷の動きを測定するGPSやボーリング機器などの機材の発達に負うことが大きい。今後も、技術の発展に伴い正確で広範な調査・研究が可能になるものと予想される。

先生によると、この30年間では氷河の面積に大きな変化はないそうだ。しかし、近年の気象条件を考えると、今後その影響が出てくるのではないかと心配になった。

（富山市 森川 敬三）



里山の自然を楽しむ<富山市ファミリーパーク>【現地研修】

講師 富山市ファミリーパーク職員

富山市ファミリーパークでの現地研修では、まず館内での座学研修があり、ファミリーパークの概要等についての話があった。それによると、ファミリーパークは1984年に開園した動物園で、呉羽丘陵の南側に位置し、広さは33haに及ぶ。そのコンセプトは「里山の自然」である。

里山とは、食糧や燃料生産等のために、人間が集落や農地に隣接した山麓の自然に手を入れて作り出した二次林のことをいい、多様な動植物の生息地にもなっている。

他の動物園では外国の珍種動物を主に飼育展示しているが、ファミリーパークでは飼育動物の60%が日本産である事を特徴としている。特に郷土の動物や希少野生動物の保護・増殖に力を入れていて、ライチョウやホクリクサンショウウオの保護や繁殖に力を入れていることでも知られている。

座学研修を終えてから屋外での研修に出発した。

園内の林の中に散策路が続き、所々に動物広場や飼育舎がゆったりと配置されていて、動物たちもリラックスモードで周囲の自然と調和していた。動物以外にも、講師が道のそばに自生している樹木や草花、薬草や昆虫等について順次説明されたので、一同、興味深く楽しみながら歩いた。例えば、自生しているソバの実やブルーベリー等は、ライチョウの餌にしていることとか、自生しているお茶の木は呉羽地域が茶の産地

であった名残で、今は野生化していることなどである。中でも驚いたのは、園内に本格的な前方後円墳があったことで、古代の歴史を体感した。

ファミリーパークでは野生のムササビやトンボ、ホタル等も住みつき、観察もできるなど、四季の自然を心から楽しめる事がわかった。

（富山市 狩野 清）



栄光のギター・スペインの光と影

講師 四十谷 隆 司 氏

講座の冒頭、『禁じられた遊び』が奏でられると、会場は一瞬でスペインの空気に包まれた。そのような中、先生は、まずスペインの観光名所を紹介し、その後スペインがローマ帝国、西ゴート族、イスラム勢力に支配されていた歴史を解説された。さらに、それぞれの時代ごとに活躍した作家を年表でわかりやすく教えてくださった。時代背景を知った上で聴くギターの音色は、格別に心に染み渡った。

市民革命後、音楽が貴族から庶民のものになると、演奏会場やオーケストラの規模が拡大し、音が小さいギターは顧みられなくなる。しかし、19世紀後半、フランシスコ・タルレガが登場し、大作曲家の曲をギターで弾けるよう編曲したり、ギターならではの美しい曲を作ったりしてギターの魅力を広めた。さらに、アンドレス・セゴビアが登場し、世界中にギターの良さが認識された。彼は1959年89歳で来日した。古賀政男の『影を慕いて』はその影響を受けて作られたそうだ。

講座のクライマックスは、タルレガの名曲『アルハンブラの思い出』。哀調をおびた美しい音色に、夕陽に染まるアルハンブラ（赤い城）が自然と目に浮かび、一同酔いしれた。演奏は全部で12曲。受講者は、「スペインの歴史と切り離すことのできない、輝かしいギターの歴史を知ることができた」「初めて聴く詩情溢れる曲に心惹かれた」「美しいギターの響きに乗って時空を旅しているようだった」など、ギターの魅力にすっかり心を奪われ、午後のひとときを楽しんだ。

(富山市 中川 智子)



花の咲く植物観察

講師 太田 道人 氏

先生は、主に科学博物館にある標本収納庫で標本を調べておられるそうだ。自生している今の植物を残しておかないと、後で検証不能になるため、植物が生きていた証拠を永久保存する作業をしておくことが重要なのだそうだ。富山県には3,430種類の植物が自生しているそうで、これも先生の調査から得られたデータだということだ。

次は、植物観察の基礎第1部「アサガオのつるはどっち回り？」である。工業規格には右ネジは右巻きという定義があるが、植物には定義がない。アサガオは体を左方向に曲げながら巻き付いていく。では、つぼみはどうか？つぼみは体を右方向に曲げながら巻いている。つまり、つるは左巻き、つぼみは右巻きなのである。つるはアサガオの観察でよく見ていたが、つぼみは逆とは新発見である。藤、ゴーヤ、ウリ等巻きひげでからみつく植物についても説明された。

続いて第2部「葉の表と裏の観察」である。まずは紫陽花の葉は、表が向軸面、裏が背軸面、表はつるつるしているが裏には下から支えるため筋や葉脈がある。松の葉にも裏表があり内側が平面で表、側面が裏だそうだ。ネギは外から見える部分は全部裏になる。

また、果物の科学として、「リンゴ、カキ、ミカン、イチゴの食べる部分はそれぞれどこに当たるか？」について考えた。へた、内果皮、中果皮、外果皮等それぞれの成立ちを詳細に比較した。実はリンゴの美味しく食べている部分はカキのへたの部分だと聞き驚いた。

発見がたくさんあり有意義な時間を過ごした。

(富山市 橋 恵子)



日本で最初に車が走った頃の話 あれこれ

講師 原島義正氏

先生が顧問をしておられる日本自動車博物館は、1978年小矢部市において日本で初めての自動車博物館として開館した。現在は石川県小松市にあり、所有台数約800台、常時約500台を使用当時の状態で展示している。展示台数では日本最大級を誇る自動車博物館である。

幕末から明治時代の日本における自動車黎明期は、道路環境を含めた交通革命の時代だった。人や牛馬が通るそれまでの道を、人力車や自動車が通行する道路に整備する必要があった。また、蒸気、馬、電気それぞれを動力とする鉄道も整備されつつあった。

日本で最初に走った自動車は、1898年にフランス人技師が東京の築地―上野間を公開運転したガソリン自動車「パナール・ルヴァッソール」だった。国産自動車第1号は、岡山県の発明家山羽虎夫が1904年に作った「山羽式蒸気自動車」である。ガソリン車の国産第1号は、1907年東京自動車製作所が製造した「タクリ一号」だった。しかし、これらは実用化には至らなかった。その後、1914年快進社が乗用車第1号「ダット」を完成、1921年には白楊社が乗用車「アレス号」を製造し、実用化の足掛かりとなった。以後、白楊社に在籍した技術者が、日本の自動車業界を牽引していくことになる。明治・大正時代の町工場が、現代の自動車会社の基になったことに注目したい。

先生は自動車メーカーに勤務されていたこともあり、そのお話しぶりに「自動車愛」が溢れていた。また、博物館が小矢部市にあったところに訪れたことを懐かしく思い出した。

(富山市 森川 敬三)



世界で最も美しい富山湾

講師 高桑幸一氏

2014年10月、富山湾は「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した。日本では、他に松島湾、宮津湾、駿河湾、九十九島湾が加盟している。

講演の前半は、世界各国の美しい湾の映像を鑑賞した後、先生が日本代表として出席した総会の様子を紹介された。フィリピンで宿泊したコテージは、地面が透けて見える床で、壁も簾が張ってあるだけ。自然、エコロジー、文化が漂う。本部フランスでは、松島湾で採れた種で育てた牡蠣を食べる。モンサンミシエル湾の潮の激しい干満差でストレスがかかり、日本より肉が薄く味が濃かった。モロッコでは、丸焼きにした山羊の頭がご飯の上に乗っていて驚いた等々。国際交流では、自国の文化を見せることが大事だと感じられたようだ。

後半は、2015年5月に設立した「美しい富山湾クラブ」について。海の魅力は、海で癒やされることや海洋資源。海の課題は、若い人の海離れの深刻化や海洋ゴミの問題である。「美しい富山湾クラブ」では、富山大学で寄付講座を開設、観光戦略の授業で学生たちが湾岸の景勝地にフォトスタンドを設置した。また、ヨットを通じて多くの人に富山湾をPRしたいと、「タモリカップ」を誘致。「世界で最も美しい湾クラブ」加盟10周年イベントでは、海岸の一斉清掃に500名が参加した。その他、さまざまな活動を通して富山湾の魅力のPRや環境保全活動を行っている。

先生の富山湾への愛に溢れたお話に、自らも美しい富山湾のために何か行動しなければという気持ちになった。

(富山市 中川 智子)



神通川船橋 — 近世富山の町づくりと交通

講師 坂 森 幹 浩 氏

神通川船橋は江戸時代に「日本一の舟橋」として知られた名所であった。その歴史と変遷をたどってみる。

前田利長が1605年に隠居して富山城を居城とした時、城下が整備された。それとともに、城下を横断している北陸道の神通川越えを容易にするため、それまでの舟渡しを舟橋に改めたのが「舟橋」の始まりであった。

江戸時代中期以降は64艘の舟を繋ぎ、長さは約300mもあった。これは、日本一の長さだった。橋舟1艘の長さは6間(約11m)、その上の橋板1枚の長さは5間2尺(約9.6m)、横幅は1尺2寸(約36cm)の板で3、4枚分だった。全体で32枚繋ぎ、その上を通った。幕末には横幅が板7枚分になった。

鉄鎖で舟先が繋がれており、神通川の水流に従い弓なりに湾曲した優雅な姿の舟橋だった。鉄鎖には中央部に錠があり、この部分で切り離しや再繋ぎが出来るようになっていた。洪水の時には鉄鎖の断裂や舟の消失を防ぐために、橋を左右に開き水圧を避けるのである。管理・維持のため、兩岸には番所が設けられ、足軽が各4人ずつ詰めていた。また、専任の舟頭30名と手伝い38名が、舟橋や兩岸の橋詰の保全・管理・清掃を担っていた。

江戸時代の文人墨客も作品中にたびたびこの舟橋を取り上げて、文献や絵画として今日まで残っている。歌川広重の版画「六十余州名所図会 越中 富山船橋」、十返舎一九の「金草鞋 越中立山紀行」、頼三樹三郎の詩「神通川即吟」等々である。

明治15年に木橋の神通橋が完成し、舟橋は役目を終えた。

(富山市 狩野 清)



走る喜びをすべての人に

講師 吉 川 和 博 氏

先生は、生活用義足とスポーツ用義足を比較しながら説明された。生活用義足で走るとドスンドスンという感じでスムーズに走れないが、カーボンファイバーでできたスポーツ用義足を使うと軽く走れるという。形や仕組みが全く違うこともわかった。

先生は、21歳の時に足に異変を感じ、病院で骨肉腫(悪性腫瘍)と診断され、手術をしたが麻痺が残る状況だった。治療しながら、麻痺の残る足をぶら下げたまま一生を過ごすことでよいのかと考え、24歳の時、左足を切断する決断をされた。前向きな決断ができたのは、①自分にはやりたいことがある。②自分の命について考えることができた。③骨肉腫の病気と闘っていた友達に恥じない生き方をしたい。という気持ちがあったからだ。

先生は、障害のことを意識しない、周りにも意識させないところで生きていきたいと思っている時に、「ギソクの図書館」(高額なスポーツ用義足を図書館で本を借りるように足に装着し、併設のトラックで自由に走ることができるように支援する)の活動に出会われた。

スポーツ用義足が高価であること、義足で走ることができる環境が少ないこと、知識や情報が少ないことなど課題は多い。しかし、「一人でも義足で走りたいという子どもがいたら、その子が走れる環境を用意してあげたい」という気持ちで参加された。

これからも「ギソクの図書館」を盛り上げていきたい、そして、自ら楽しく走り続けていくことで多くの人の笑顔に出会いたいと結ばれた。

終始笑顔で、そして力強い先生の話ぶりに圧倒された時間だった。

(富山市 橋 恵子)



(7) 自遊塾

自遊塾は、ボランティア講師である県民教授によって提案された企画が、講師と塾生によって、自主的に運営される学びと交流の場です。富山地区センター会場では、次の講座が開講されました。

県民教授	テーマ (講座名)	定員	塾生数
青海 燕燕	啦・啦・啦 中国三昧ー 一緒に漢方美人になりませんか	18	13
青木 正樹	雑学の部屋①心と癒しの部屋	13	13
大島 久和	古代史ミステリー講座「隠された日本誕生の謎」 弥生～飛鳥	70	67
高瀬 宣信	現代詩の探求	25	11
中嶋 昭三	「読書と世界遺産」のすすめ～読書も自分流	20	4
五十嵐 直美	ホームガーデニング！おうちに花と緑を	8	8
青木 正樹	雑学の部屋②	20	12
羽岡 優子			
牧野 三枝子	篠笛から学ぶ日本音楽	18	5
恒田 則子			

4 開催行事

(1) 県民カレッジ富山地区センター学遊祭

日 時：令和7年11月1日（土）9：00～15：00

（雄峰高校学園祭と同日開催）

場 所：県民カレッジ富山地区センター、県立雄峰高等学校

1. 内容

①ステージ発表〔雄峰高校体育館〕

- ・詩吟（滑川市古典講読）
- ・越中富山玉すだれ（越中富山玉すだれ保存会）
- ・合唱（自遊塾 さわやかな空の下で歌いましょう）
- ・剣詩舞（剣詩舞天黎会）

②実演、ミニ講座、体験〔学習室1、雄峰高校小会議室〕

- ・越中富山玉すだれ（越中富山玉すだれ保存会）
- ・合唱（自遊塾 さわやかな空の下で歌いましょう）
- ・ミニ講座「百寿者をめざして」（はつらつ学びの会）
- ・まんだら塗り絵（自遊塾 雑学の部屋①）

③展示〔学習室2、事務室前廊下〕

- ・書道作品展示（遊朋倶楽部）
- ・表彰受賞及び団体活動紹介（視覚障害者ITサポートとやま）
- ・団体活動紹介（富山市民大学学友会、清泉コーラス）
- ・教養講座および自主講座活動紹介等（富山地区生涯学習団体協議会）
- ・前期の主催講座の紹介（富山地区センター）

④映写会〔学習室1〕

- ・郷土学習教材「昆布ロード 富山人のあゆみ」
- ・「ざんねんないきもの事典2」
- ・映画「ざんねんないきもの事典」



2. 来場者数（延べ数）

作品展示と活動紹介、ステージ発表、映写会 262名

3. 課題・申し送り事項

- ・雨も終了後まで降らずに、多くの来場者があった。展示に関するクイズを実施したところ、好評だった。地区センターへの理解が深まった。しかし、今年度は景品をなしとしたが、来所者から問い合わせがあった。カレッジメイトから、手作りの景品はどうかと提案もあり、次年度の課題となった。
- ・ステージ発表は昨年度より出場団体が増え、学習室でも再度発表する団体もあり盛り上がった。しかし、今年度もステージ発表前に音源のトラブルが発生し、次年度は対策が必要である。
- ・映写会は子ども向けのものも用意したが、思ったより少なかった。映写会全般を通して来所者が少なかったため、次年度は実施するかも含めて検討する必要がある。
- ・今回も富山地区生涯学習協議会役員の方々の応援・協力が多々あり、交流の場として大変よかった。

(2) カレッジわくわくシアター

場所：県民カレッジ富山地区センター学習室

回	日時	上映作品	視聴者数
1	5月18日（日）10時～	・邦画「幻の蛸」	12名
2	6月28日（土）10時～	・越中人譚 時代の冒険者たち 第一話 近代日本を築いた 越中魂（浅野総一郎／安田善次郎） ・新時代を拓く ～藤井能三の近代遠望～ ・富山県誕生 分県の父 米澤紋三郎の志	21名
3	7月27日（日）10時～	・洋画「雨に唄えば」	35名
4	9月6日（土）10時～	・ナチュラルワールド動物の謝肉祭Vol2シャチ～優しい殺し屋～ ・プロフェッショナル仕事の流儀 茂木健一郎の脳活用法スペシャル	24名
5	12月7日（日）10時～	・世界名作映画館「三十四丁目の奇跡」	17名
6	1月18日（日）10時～	・ガラパゴスⅠ 炎からの誕生 ・ガラパゴスⅡ 進化論が生まれた島	10名
7	2月14日（土）10時～	・一献の系譜	17名
8	2月28日（土）10時～	・蟹工船	33名

計169名

5 連携

(1) 富山地区広域学習サービス連絡会議

生涯学習社会への移行が進むなか、市町村をはじめ、高等教育機関、民間教育事業者、県関連機関などが連携を図りながら、多様な学習講座の提供を効果的に行うことが求められています。

このため、生涯学習の活性化を目的に、各種団体・機関等の連携・協働について話し合い、地域社会の活性化につながるよう、広域学習サービスの提供体制の充実を図りました。



日 時：令和7年12月5日（金）10:00～11:45

場 所：県民カレッジ富山地区センター 学習室1

参加者数：20名

（参加機関）富山大学、富山短期大学、高志の国文学館、（公財）とやま国際センター、富山県公文書館、富山県埋蔵文化財センター、富山県南米協会、富山市民学習センター、（公財）富山県女性財団、富山県中央植物園、富山市民教育委員会、上市町教育委員会、立山町教育委員会、富山地区生涯学習団体協議会、富山県立雄峰高等学校、富山県教育委員会生涯学習・文化財課、富山県民生涯学習カレッジ本部、富山県民生涯学習カレッジ富山地区センター

進行：県民カレッジ富山地区センター 狐塚 副所長

記録：県民カレッジ富山地区センター 井上 学習専門員



会議次第

1 開会の挨拶 県民カレッジ富山地区センター所長 日下 泰夫

2 挨拶 生涯学習・文化財課 社会教育主事 塚島 理英

挨拶 県民カレッジ本部 県民カレッジ副学長 池田 康広

3 報告・意見交換

（1）各機関の事業実施状況についての概要（自己紹介を兼ねて）

今年度実施した講座や学習サービス等、講座や学習サービス等の企画運営に関しての工夫と課題

（2）各機関との連携・協働について

（3）講座・学習サービス等の企画・運営について他の機関への質問

4 閉会の挨拶 県民カレッジ富山地区センター副所長 狐塚 政幸



（2）富山地区生涯学習団体協議会

1 総会、役員会

（1）総会

- ・ 日 時 4月11日（金） 9：30～11：30
- ・ 会 場 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- ・ 内 容 令和6年度事業・収支決算報告
令和7年度事業・予算案審議

- ・ 記念講演 演 題 「お酒を楽しむ」
講 師 富山県民生涯学習カレッジ 学長 本江 孝一 氏



記念講演講師 本江 氏

（2）役員会等

- ・ 運営委員会6回、地区センター学遊祭準備委員会1回
- ・ 広報紙「ぐりーん・たいむ TOYAMA 61号」編集委員会8回

2 生涯学習推進事業

（1）地区交流会

- ・ 期 日 6月13日（金）
- ・ 行 程 富山駅北口 → 南砺市井波（八日町通り）、瑞泉寺
→ トレボーワイナリー → 若鶴酒造三郎丸蒸留所
→ となみ散居村ミュージアム → 富山駅北口
- ・ テーマ 「砺波地域の伝統文化や、地域の自然や恵みを活かした企業の取り組みから学ぶ」



ガイドから井波彫刻について聞く

(2) 地区セミナー（2回）

- ・ 日 時 11月7日（金）、11月21日（金）13：30～15：30
- ・ 会 場 県民カレッジ富山地区センター学習室
- ・ テーマ 「豊かな知識の世界へー学ぶ楽しさ、知る楽しさー」
- ・ 延べ受講者 36名

◆ 第1回 11月7日（金） 空き家対策（出前県庁しごと談義）



講師：富山県土木部建築住宅課 主任 本居 貴紀 氏

空き家問題は全国的に深刻化しており、持ち家率の高い富山県も例外ではない。多くは木造で老朽化が進み、耐震性にも問題がある。相続による取得が多く、高齢化や遠方居住により管理が困難で放置されがちである。

富山県では令和7年度から空き家コーディネーターの配置やセミナー開催、リフォーム補助などを実施している。市町村でも、空き家バンクや相談窓口を設置するなど取り組んでいる。空き家で悩んでいたら、相談窓口や補助金情報を確認し無料相談会に行くことが、解決の糸口になることがわかった。

◆ 第2回 11月21日（金） 科学っておもしろい！もみ子先生の実験講座



講師：デザインオフィス デスティン 代表 池田 紅子 氏

準備の時間から、先生の声かけで始まった講座では、様々な理科実験を見せていただいたり、先生の指導・助言のもと、受講者自身が10を超える実験・活動に取り組んだりした。

2時間を超える講座となったが、受講者から「謎が解けたり変化の仕組みや仕掛けが理解できたりした時には『やったー！』という気持ちになれた。今日のような体験が最近少なかったように感じた」という感想もいただき、一人ひとりが童心に戻る時間、成功感を味わう時間、そして失敗しても粘り強く取り組もうとする時間となった。

(3) 第37回 県民カレッジ学遊祭

- ・ 期 日 10月4日（土）
- ・ 会 場 富山県教育文化会館
- ・ 表 彰 富山県生涯学習団体表彰
視覚障害者 IT サポートとやま（富山市）

「IT サポートとやま」荒井さん、
吉田さん、盲導犬ジュロ



(4) 第13回 富山地区センター学遊祭

- ・ 期 日 11月1日（土）
- ・ 会 場 県民カレッジ富山地区センター、雄峰高校体育館
- ・ 内 容 講座の紹介や生涯学習団体の活動を紹介する展示、発表、ミニ講座を行った。雄峰高校体育館では、滑川市古典講読、剣詩舞天黎会、越中富山玉すだれ保存会、さわやかな空の下で歌いましょうの4団体が発表した。また、地区センター学習室では、越中富山玉すだれ保存会、さわやかな空の下で歌いましょうの2団体の活動紹介、はつらつ学びの会のミニ講座を行った。

(5) 広報紙の発行

- ・ 3月に広報紙「ぐりーん・たいむ TOYAMA 61号」を1,500部発行

(6) 自主講座

- ・ 日 時 1月23日（金）10：00～12：00
- ・ 会 場 県民カレッジ富山地区センター 学習室
- ・ 内 容 脳いきいき ほんわかアート
- ・ 講 師 岩城 美保 先生
- ・ 受講者数 10名



受講者活動の様子

視覚障害者のより快適な生活、社会参加と自立を目指して

富山市 視覚障害者 IT サポートとやま

【活動年数19年 会員数99名】

会の設立・活動内容

本会は、平成18（2006）年、視覚障害者、ITを支援するボランティア、富山県立富山視覚総合支援学校の教員等が中心となり、「視覚障害者に対してパソコンの設定や操作等の支援活動を行う」ことを目的に設立した。現在、月2回の勉強会を開催し、視覚障害者のICT支援を行っている。

設立当初は音声パソコンのサポートを主に行っていたが、ICTの発達とともに近年、音声パソコン、iPhoneやiPadのボイスオーバーを使用した操作支援など、サポートの内容が拡大している。

また、中途視覚障害者が点字を使えるようになることを目的として、月2回、点字触読の会を実施している。

設立当初11名から始まった会員数は、現在99名になる。内訳は視覚障害者72名、晴眼者27名で、ICTの勉強会に参加する人、点字を覚える人、勉強会には参加できないがメーリングリストを通して情報収集する人、支援ボランティアに参加する人など、様々なメンバーが在籍している。



勉強会の様子

<本会 パンフレット掲載写真から>



活動の充実・拡大



平成20（2008）年より赤い羽根共同募金会から助成金を受け、「見えない・見えにくい人のための生活便利グッズ展示&相談会」を年3回実施してきた。コロナ禍で実施できない年もあったが、これまで計45回開催している。この事業は、県内眼科医療機関、富山視覚総合支援学校、富山県視覚障害者協会、日本盲導犬協会、視覚障害者支援ボランティア団体の共催で実施している。これまで多くの方が来場され、盲導犬の導入に至った方、白杖を使って歩けるようになった方、福祉支援機器を導入され快適な社会生活を送れるようになった方などがおられる。

また、本会では関係機関等と連携し、次のような活動を進めている。

- ・視覚障害者ケアネットワークとやまの構成団体として登録し、視覚障害に関する関係団体との連携を図る。
- ・富山県内の眼科医療機関を中心とした富山県スマートサイトの支援団体として、眼科医療機関から紹介いただいた患者様へ福祉機器の紹介や福祉支援の情報提供等を行う。
- ・平成30（2018）年より富山市社会福祉協議会の委託事業として、「視覚障害者のためのIT支援ボランティア養成講座」を実施したり、富山視覚総合支援学校で教員対象のICT研修会などを実施したりしている。



今後に向けて

現代は様々な情報がインターネット上で公開され、職場や学校、日常生活でもパソコンやスマートフォン等が使われている。そのような中で、視覚障害者は情報弱者となりがちである。来年、本会は設立20周年を迎える。今後もメンバー仲良く、ITサポートの充実をはじめ、視覚障害者の情報バリアフリーの支援を通して、視覚障害者のより快適な生活、社会参加と自立の促進につながる活動を続けていきたいと思う。

令和7年度 富山地区生涯学習団体協議会加入団体概要

	団体名 (種別)	代表者名	活動内容	会員数	活動年数
1	滑川市古典講読 (読書会)	小善 英男	『源氏物語』の原文を全員で“朗読”し、登場人物の心情、恋愛心理、物語背景、情景描写などを鑑賞、味わい、自由に感想や意見を交換し合い、理解を深める。	6	28
2	立山読書会 (読書会)	在原 正人	読後の感想を語り合い、液晶モニターでネット資源を活用し、作品や著者の意図、人間像の理解を深めることに努めている。	11	57
3	洋影編物教育会富山県本部 (編み物)	森内とも子	編物手芸、押絵、木目込み、人形、詩舞、着物着付等をして、高齢者の青春を楽しんでいる。	11	39
4	白蘭読書会 (読書会)	矢後 織枝	山室公民館を起点として、月に1回定例会を開いている。市立図書館で毎月交代で本を借り、読後感を話し合ったり情報交換を行ったりしている。	8	42
5	富山市民大学学友会 (総合学習)	岡田 茂	“見て聞いて知る”教養講座や現地研修、市民大学祭の実施、会誌・会報の発行等を行う。	600	45
6	のっぽの会 (社会)	堀岡 邦子	世の中の動きに対応できる知識を、講演会・学習会への参加で習得するように努め、女性の地位向上を目指し勉強している。	7	36
7	県民カレッジ友の会「雷鳥会」 富山支部 (総合学習)	堀岡 邦子	県民カレッジ事業に参加協力すると共に、地域に根ざした研修や会員の交流を図っている。	80	50
8	細川流盆石 (砂絵)	磯野 宗和	盆石は500年以上伝わる伝統芸術で、黒塗りの盆の上に白砂で300種ある風景を描く。12月の義士忌茶会などの茶事・茶会の床に展示している。	13	235
9	富山社会人大楽塾 (一般教養)	柳原 正年	シニアの生涯学習支援、養生学を研究。その成果を健康生きがいづくりで実践し、高齢介護施設へ「笑いベテラ歌体操」としてボランティア訪問を行う。	18	24
10	とやま語りの会 (ボランティア)	奥井 悦子	次世代を担う幼児童の心豊かな大人への成長を願い、祖先が培ってきた文化遺産の民話を、「語り」を通して伝承する、奉仕口演活動を行う。	10	26
11	ふるさと探訪同好会 (郷土学習)	宮原 利英	60歳以上の富山市在住者で構成し、現地探訪等を行い、ふるさと富山の魅力を探る。	45	25
12	剣詩舞天黎会 (剣詩舞道)	狩野 清	古今の漢詩、和歌などの剣舞、詩舞を舞い、作者の心情やその時代の歴史を窺い知る。地域の行事への参加や施設訪問等を行う。	9	72
13	富山八雲会 (文学)	中尾 哲雄	小泉八雲(ラファエロ・ヘーン)の人と作品の普及活動と、八雲の蔵書である富山大学附属図書館「ヘルン文庫」の調査研究を行う。	70	24
14	とやま美の友の会 (一般教養)	嘉藤 俊子	美術館で毎月1回の鑑賞会を開き、学芸員の説明を受ける。自分の美に対する見方をもち、県内外の美術館や文化施設を訪問する。	28	22
15	視覚障害者ITサポートとやま (ボランティア)	堀 恵一	視覚障害者への音声パソコンのサポート。年3回のロービジョン相談会。点字触読の勉強会を開催している。	92	18
16	富山県健康生きがいづくり アドバイザー協議会 (ボランティア)	辻 哲次	健康と生きがいづくりについて、主に中高年を対象に地域や企業内で専門的に支援し、生涯現役のサポートをしている。	18	26
17	富山市立図書館よみかかせの会 (ボランティア)	松崎 訓子	子どもの読書活動の支援を目標とし、富山市立図書館と協力して、子どもと本を結ぶための様々なボランティア活動を行う。	37	22
18	とやま草樹句会 (俳句)	森川 敬三	句歴や結社、主義主張を越えて、俳句を愛し学ぶ市民が集い、俳句を親しみ普及することに、句会交流会の開催、会報の発行、添削指導等を行う。	11	19
19	はつらつ学びの会 (総合学習)	檜谷 靖城	県民生涯学習カレッジ講座等の諸事業を担当して研鑽を積むとともに、はつらつ学びのリーダーとして活動する。	10	15
20	こころ・ことば・わくわくワーク (ボランティア)	大井タミ子	読み聞かせ朗読の呼吸の仕方や表現、伝え方等を練習し、読んで「伝える」楽しさ、グループで「伝え伝える」楽しさを、心の音符と一緒に楽しむ。	7	6
21	さわやかソングス (合唱)	針原 洋子	昔懐かしい童謡や唱歌、若かりし頃歌った曲をみんなで楽しく合唱し、脳と体を活性化させる機会としている。	40	19
22	富山・中国ネットワーク (ボランティア)	倉嶋 清吾	中国語学習会・会話会等の実施、県内在住中国人との交流会(春節交流会等)の実施、県内の中国語学習者への情報提供・交流、県内在住中国人への支援・情報提供、二胡サークル活動等の中国文化の学習を行う。	86	27
23	清泉コーラス (合唱)	川越 妙子	富山県立女学校、富山県立富山女子高等学校、富山県立いずみ高等学校の同窓生による会で、3校の校歌を歌い継ぐとともに、合唱を通じて親睦を深める。	17	20
24	遊朋倶楽部 (書道)	石崎 康弘	書道作品の制作・発表・研究を通して、書道文化の発展に寄与し、会員相互の親睦を図る。	6	1
25	越中富山玉すだれ保存会 (郷土芸能)	岩田裕美子	日本の古典芸能としてミネートされている南京玉すだれは、平成14年に日本南京玉すだれ協会より、富山県五箇山が発祥地と認定されている。富山の郷土芸能として南京玉すだれの普及・継承活動を進める。	5	23
26	文珠の会 (総合学習)	澤井 勇	毎月1回勉強会(講演会、歴史、一般教養など)を開催し、会員一人ひとりの教養を高めるとともに、会員の交流を図っている。	16	22
27	大人の読書会 (読書会)	中川 智子	月1回の読書会を実施。課題図書を決め、感想や意見を述べ合い、読みを深める。終了後、「読書会ニュース」を発行し、振り返る。	8	5
28	三漢四音 (総合学習)	青海 燕燕	心と体を鍛える太極拳の基本を学びながら、豊かな中国茶を楽しむ時間をシェアする。さらに、入門中国語を勉強しながら古来から伝わる漢方の知恵をより深く理解する。 ※三漢とは漢字・漢詩・漢方を指す	18	2

6 ボランティアとの協働

(1) カレッジメイト（生涯学習ボランティア）

1 委嘱について

委嘱期間は、4月1日から翌年3月31日までの1年間。

なお、ボランティア活動保険に加入。（保険料は県民カレッジが負担）

2 活動内容について

(1) カレッジメイト会議（年3回1～2時間程度実施）

カレッジ事業の企画・運営に関する意見や要望等を集約。

(2) センター事業の広報活動（年2回ほど実施）

センターだより、チラシ等の仕分け作業及び配布補助。

(3) 開設講座の運営補助（年6回ほど実施）

講座の会場設営や受付事務の補助。なお、運営に支障がない範囲で講座に参加。

(4) 主催イベント等の運営補助（11月上旬実施）

県民カレッジ富山地区センター学遊祭の運営補助。

3 募集について

カレッジメイト10名程度を募集。（2月～3月）

4 令和7年度活動状況

(1) カレッジメイト会議（委嘱、打ち合わせ、意見交換など）（4月、7月、2月 計3回）

(2) 開設講座会場設営、受講者の受付、資料配布など（5月～12月 計26回）

(3) センターだよりの配布仕分け（7月、2月 計2回）

(4) 学遊祭の運営補助（11月 1回）

(2) ボランティアコーディネート

	カレッジメイト		富山地区生涯学習団体協議会	
	件数	人数	件数	人数
4月	1	6	2	46
5月	5	8	3	105
6月	5	8	2	83
7月	4	10	1	46
8月	2	2	2	97
9月	0	0	2	58
10月	2	3	6	85
11月	7	16	5	104
12月	1	2	0	0
1月	0	0	3	27
2月	1	5	0	0
3月	0	0	3	22
計	28	60	29	673

7 広報

(1) ホームページ

富山地区センターの活動状況を随時更新し、最新の情報を提供した。講座の活動内容などを写真等交えながらわかりやすく紹介した。

年 度	ホームページアクセス件数
令和7年度（4月～1月）	9,338件
令和6年度	15,616件
令和5年度	12,715件

※令和7年度より集計方法を変更した。

(2) 印刷物

①センターだより等の編集と発行

富山地区（富山市・滑川市・上市町・立山町・舟橋村）や射水市の各機関を中心に配布した。

印 刷 物	発行年月	部数	ページ数
センターだよりNo.27	令和 7年 3月	6,000	12
センターだよりNo.28	令和 7年 7月	5,000	8
こどもまんなか教室チラシ	令和 7年 7月	3,000	両面
地区センター学遊祭チラシ	令和 7年10月	750	両面

②所報の編集と発刊

令和7年度県民カレッジ富山地区センターの様々な事業や施設・運営などを記載した所報を発刊した。

8 統計・資料

(1) 各講座の状況

※（ ）内の数字はオンライン自宅受講者数

講 座 名	定員	申込者数	受講者数	修了者数	修了率
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区連携型) 前期	50	39	39	33	84.6%
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 前期①	75 (25)	24 (6)	23 (6)	22 (6)	95.7% (100%)
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 前期②	75 (25)	24 (4)	22 (4)	19 (4)	86.4% (100%)
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 後期①	75 (25)	46 (9)	44 (9)	41 (9)	93.2% (100%)
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 後期②	75 (25)	28 (6)	26 (6)	23 (4)	88.5% (66.7%)
「つながる学びわくわく講座」 つながる体験コース 前期	20	25	25	22	88.0%
「つながる学びわくわく講座」 つながる体験コース 後期	20	22	22	16	72.7%
「こどもまんなか教室」午前の部	20	21	21	21	100%
「こどもまんなか教室」午後の部	20	23	22	22	100%
共学講座（詳細は別記）	約160	86	83	71	86.0%
自遊塾（詳細は別記）	192	136	133	110	82.7%
教養講座	100	80	79	42	53.2%

◆共学講座

	教科	講座名	期間	社会人				高校生	
				定員	申込者数	受講者数	修了者数		
昼 間	国語	現代文に親しむ	通年	5	3	3	3	20	
		古典に親しむ	通年	0	0	0	0	36	
	地歴	歴史総合	通年	5	5	5	4	18	
		地理総合	通年	5	3	3	3	18	
	公民	「倫理」研究	通年	5	4	4	3	21	
		「政治・経済」研究	通年	5	3	3	3	23	
	数学	確率、図形を学ぶ	通年	5	2	2	1	21	
		数列、統計的な推測を学ぶ	通年	5	1	1	0	9	
	理科	生活の中の科学	通年	5	4	4	3	5	
		生物と生命現象	通年	5	6	5	5	23	
	音楽	鑑賞研究①	通年	5	5	5	4	9	
		鑑賞研究②	通年	5	4	4	3	10	
	美術	ビジュアルデザイン	通年	5	3	3	2	18	
		クラフトデザイン	通年	5	2	2	2	13	
	書道	生活の中の書①	通年	5	5	3	2	18	
		生活の中の書②	通年	5	4	4	4	12	
	外国語	実践英語	通年	10	4	4	4	11	
		中国語入門	通年	0	0	0	0	32	
		中国語会話	通年	若干名	2	2	2	25	
	家庭	服飾手芸①	通年	5	5	5	5	2	
		服飾手芸②	通年	5	2	2	1	4	
	情報	情報Ⅰ	通年	若干名	1	1	1	16	
	商業	情報処理を学ぶ	通年	5	2	2	1	7	
		簿記を始めよう	通年	5	1	1	1	6	
	夜 間	地歴	入門・とやまの歴史	前期	10	0	0	0	5
		公民	世界の国々	後期	10	0	0	0	4
外国語	英語会話	通年	10	13	13	13	3		
	商業	簿記	通年	5	1	1	1	5	
		初めての簿記	後期	5	1	1	0	1	
		初めてのパソコンワーク	後期	10	0	0	0	1	
合計				約160	86	83	71	396	

◆自遊塾

講座名	定員	申込者数	塾生数	修了者数
啦・啦・啦 中国三昧ー 一緒に漢方美人になりませんか	18	13	13	10
雑学の部屋①心と癒しの部屋	13	13	13	10
古代史ミステリー講座「隠された日本誕生の謎」弥生～飛鳥	70	67	67	58
現代詩の探求	25	11	11	7
「読書と世界遺産」のすすめ～読書も自分流	20	5	4	4
ホームガーデニング！おうちに花と緑を	8	8	8	8
雑学の部屋②	20	13	12	10
篠笛から学ぶ日本音楽	18	6	5	3
合計	192	136	133	110

(2) 講座全体のアンケート結果より

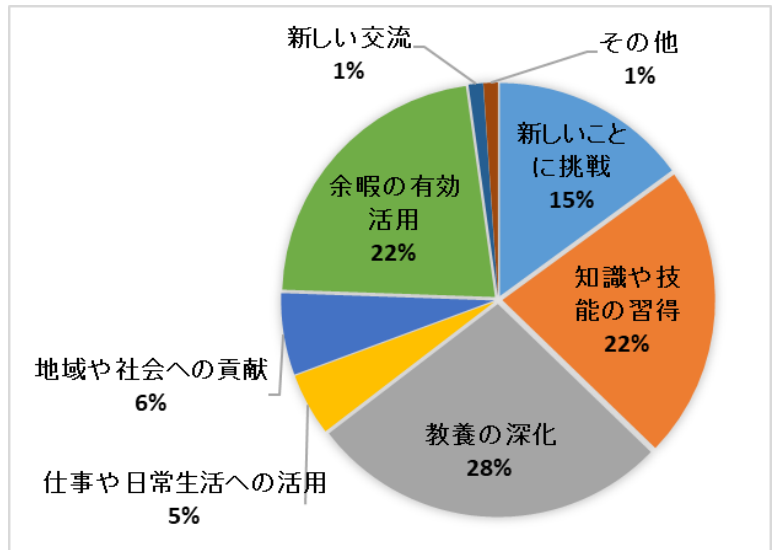
各講座の最終回に実施 延べ96名(21名)より回答 ※ ()内の数字はオンライン自宅受講者数

◇年代別受講状況(人数) ※アンケート回答者のみ

講座名	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 前期①			0 (1)	4 (0)	7 (4)	2 (1)	13 (6)
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 前期②				2 (0)	8 (3)	2 (1)	12 (4)
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 後期①			2 (1)	3 (2)	15 (4)	8 (0)	28 (7)
「つながる学びわくわく講座」 つながるふるさと学びコース(地区単独型) 後期②				2 (0)	8 (4)	3 (0)	13 (4)
「つながる学びわくわく講座」 つながる体験コース 前期			2	6	4	3	15
「つながる学びわくわく講座」 つながる体験コース 後期		1	0	6	7	1	15

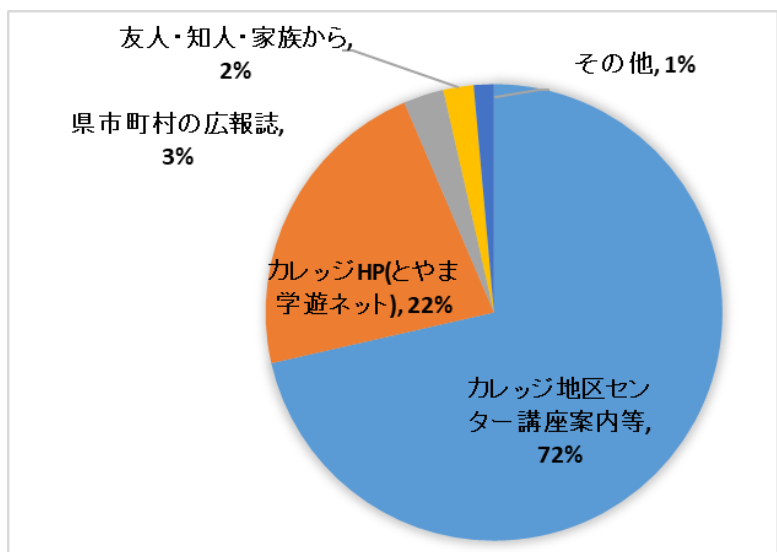
◇受講のきっかけ(複数回答可)

新しいことに挑戦	41
知識や技能の習得	61
教養の深化	75
仕事や日常生活への活用	13
地域や社会への貢献	17
余暇の有効活用	61
新しい交流	3
その他	3
合計	274



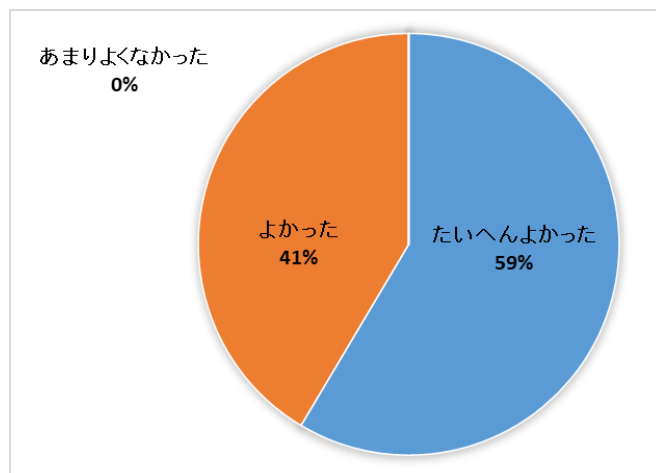
◇講座情報入手手段(複数回答可)

カレッジ地区センター講座案内等	100
カレッジHP(とやま学遊ネット)	31
県市町村の広報誌	4
友人・知人・家族から	3
その他	2
合計	140



◇講座の内容

たいへんよかった	65
よかった	46
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
合計	111



(3) 月別来所者数

月	人数	(昨年度)
4月	578	523
5月	525	659
6月	775	625
7月	544	920
8月	517	546
9月	601	518
前期計	3,540	3,791

月	人数	(昨年度)
10月	515	561
11月	605	784
12月	464	639
1月	323	353
2月	645	498
3月※	401	365
後期計	2,953	3,200
合計	6,493	6,991

※3月31日現在

(4) 職員一覧

所長	日下 泰夫
副所長	狐塚 政幸
学習専門員(常勤)	井上 里恵
学習専門員(嘱託)	麦谷 直人
学習専門員(嘱託)	吉藤 重弘
事務員(嘱託)	大重 美智子
事務員(臨時)	松本 裕代

事務長	橋本 春美
主任	谷崎 麻依子
主任	石田 桃子
主事	吉田 未央
主事	三浦 萌佳

表紙題字 : 早崎 義典 (元雄峰高等学校教諭)

令和8年3月13日発行

富山県民生涯学習カレッジ富山地区センター

〒930-0009 富山市神通町二丁目12番20号

TEL 076-441-0301 FAX 076-441-0328

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama-c/>